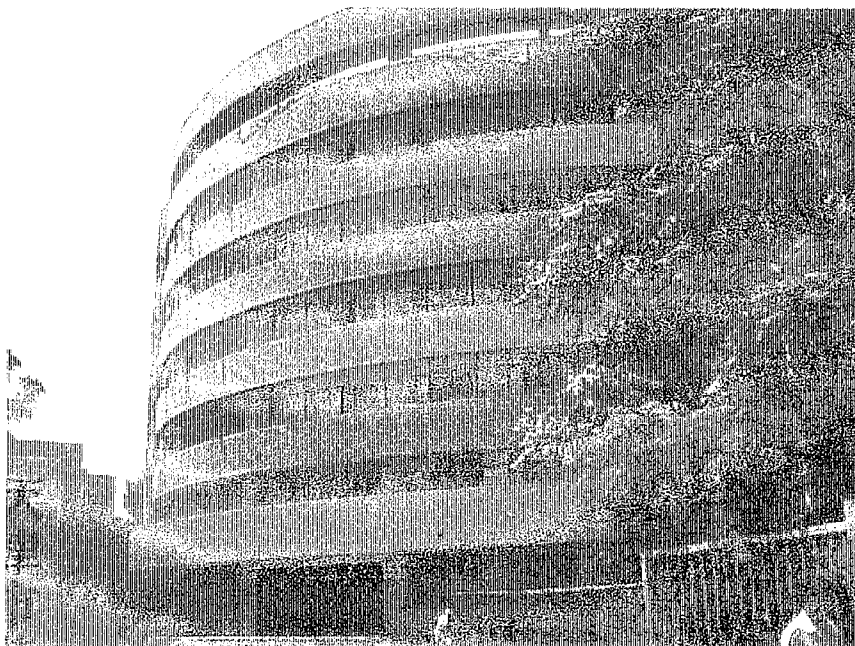


⑤ 天津医薬品検査技術プロジェクト概要書

天津医薬品検査技術  
プロジェクト

概要書



巡回指導調査団用資料

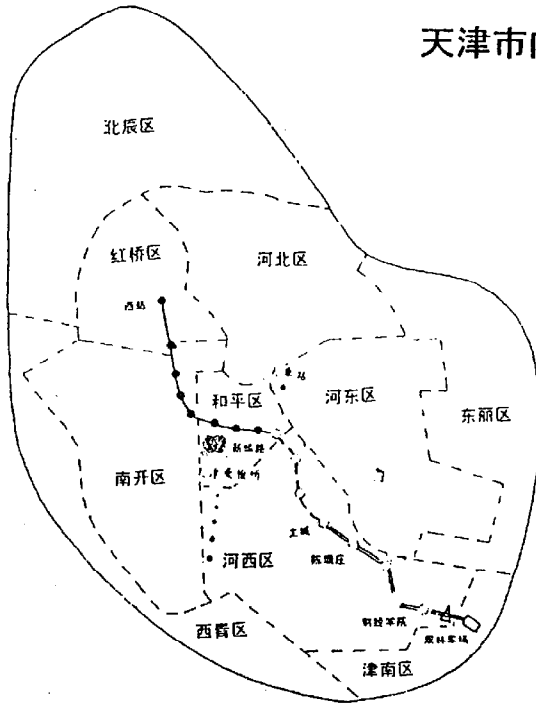
(97年8月14日～21日)



《 目 次 》

1. プロジェクト所在地地図
2. プロジェクト概要
  - (別添 1) 組織関係図
  - (別添 2) 天津市薬品検査所組織図
  - (別添 3) カウンターパート配置一覧表
  - (別添 4) 活動実績一覧表
  - (別添5-1) 日本側／相手側投入実績一覧表(1)(2)  
専門家派遣及び機材供与
  - (別添5-2) 日本側／相手側投入実績一覧表(3)(4)  
研修員受入、現地活動経費、その他
  - (別添 6) プロジェクト暫定実施計画書(省略)  
プロジェクト当初計画及び実施計画(分野別)
  - (別添 7) 年度別研究課題一覧
3. ①天津市薬品検査所施設配置平面図  
②天津市薬品検査所新館平面図(1～6階)  
③天津市薬品検査所旧館平面図(1～3階)
4. 天津市薬品検査所検品統計資料
5. 当検査所事業費支出状況表
6. 中国側ローカルコスト実績状況表
7. 当検査所職員資料(詳細資料は省略)
8. 機器管理組織図
9. JICA 援助機材到着状況表

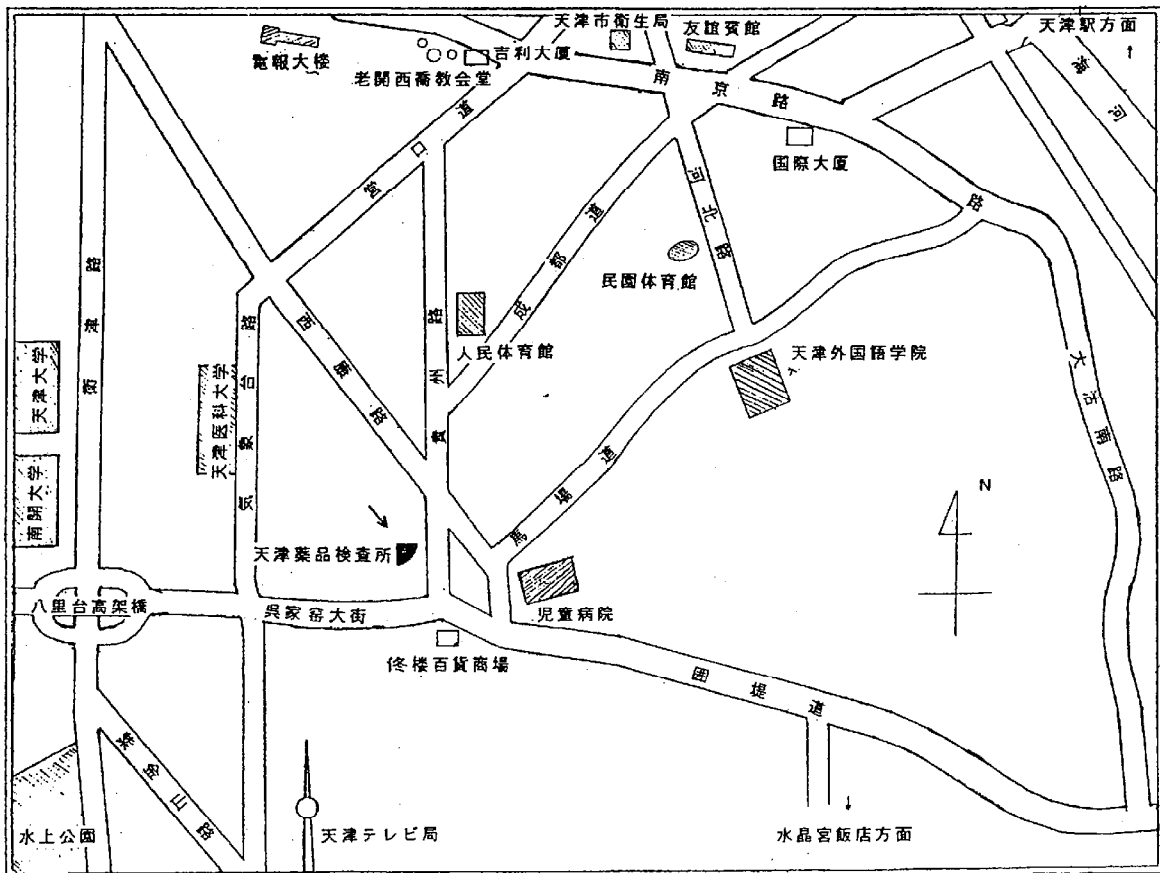
## 天津市内地図



天津市薬品検査所プロジェクト事務局  
 所在地 天津市和平区貴州路98号  
 電話 022-2337-4068  
 F A X 022-2337-4068  
 郵便番号 300070

JICA日本人専門家室  
 所在地 天津市和平区貴州路98号  
 電話 022-2337-4070,4027  
 F A X 022-2337-4027  
 郵便番号 300070

## 天津市薬品検査所所在地地図



## (I) プロジェクト概要

### 1. プロジェクト発足の背景と経緯

中国医薬品管理の基本法令（中華人民共和国薬品管理法）が1984年に制定され、第7次及び第8次5カ年計画（1986年～90年、1991年～1995年）で医薬品の品質管理の強化を掲げて努力している。しかし生産される医薬品の品質は十分国際基準を満たすに至っていないのが現状である。

このような背景のもと、中国政府は医薬品の品質管理、検査業務の強化を通じ、中国人民に使用する医薬品の安全性及び有効性の保証を図るため我国に対し、プロジェクト方式技術協力を要請してきた。

これを受けて国際協力事業団は事前調査団の派遣、長期調査員チームの派遣等により中国側と協議を重ね、同時に国内関係機関による国内支援体制を確立し、プロジェクト実施の基本方針及び体制の確立を行った。

以上の結果に基づきR/Dに署名し、「天津医薬品検査技術プロジェクト」として正式に発足した。

2. R/D署名日： 1993年11月6日

3. 協力機関： 1993年11月6日～1998年11月5日（5カ年）

### 4. 相手国実施機関： 天津市薬品検査所

天津市は中国における医薬品生産の重要機関のひとつであり、天津港を通じ大量の中薬及び西洋薬を中国国内で販売している。

天津市薬品検査所は天津市衛生局管轄のもと、法定医薬品の品質管理並びに検査を実施する機関であり、中国衛生部（日本の厚生省に相当）から港における医薬品検査業務を授権されている。また、薬品検査所の華北協力地区のリーダーを務めている。各種医薬品検査、審査承認、品質規格、科学研究等の地域的また全国的関連業務を受け持っており中国の中の主要な検査所のひとつであり、北方地区（華北、東北、西北）における重点薬品検査所である。

### 5. 実施体制

プロジェクトに実施体制は次の通りである。

(1) 天津市人民政府科学技術委員会はプロジェクト実施に係わる全ての責任を負う。

(2) 衛生部は地方政府と協力してプロジェクトの成果を全国に普及させる。

(3) 天津市衛生局はプロジェクトの具体的な管理と運営を担当し、必要なローカルコストを負担する。

組織関係図： 別添1のとおり

実施機関である天津市薬品検査所は、天津市衛生局に属し、その組織図は別添2に示すとおりである。所内にプロジェクト事務室が設置されており、範積芬所長、唐元泰副所長、郭成明所長助理がその任にあたり、プロジェクト実施に関する調整を行っている。

なお専門家のC/Pとなるメンバーの配置も別添3に示すとおりである。

6. 日本側協力機関：厚生省薬務局、国立医薬品食品衛生研究所、国立感染症研究所、神戸薬科大学、東京薬科大学、明治薬科大学、熊本大学、日本大学、千葉市衛生研究所、東京都衛生研究所等

国内委員会：委員長	寺尾 允 男	国立医薬品食品衛生研究所長
委員	内山 充	前国立衛生試験所長
委員	水野 左 敏	国立感染症研究所 生物活性物質部長
委員	藤井 基 之	厚生省薬務局審査課長
委員	島田 静 夫	日本製薬工業協会振興部長

#### 7. プロジェクトの目的

医薬品の品質管理、試験検査に関する技術を強化し、中国で流通する医薬品の安全性と有効性の向上をはかる。

#### 8. 協力活動内容

##### (1) 医薬品検査に係わる下記の技術移転及び強化

###### a) 分析技術

各種分析機器及び器具類の有効利用技術。  
新技術を含む機器分析の応用技術。

###### b) 抗生物質

抗生物質医薬品の力価試験技術と試験規格の設定。  
医薬品の無菌試験検査技術。

###### c) 化学薬品

医薬品の規格試験法の設定。  
バイオアベラビリティ及び安定性試験技術と研究法。

###### d) 生薬

生薬、漢方製剤の規格試験法。  
生薬、漢方製剤の薬理試験法の基礎的技術。  
生薬、漢方製剤の活性成分の単離方法と研究方法。  
生薬中の有害金属、残留農薬の試験法

###### e) 生物化学薬品

タンパク質、糖タンパク質、多糖質等の生物化学薬品の分析方法と生物化学検査方法。

タンパク質、糖タンパク質、多糖質等の生物化学薬品の規格設定。

f) 薬理・生物試験

医薬品の生物検定。

医薬品の特殊毒性試験。

g) 品質管理、検査管理

医薬品におけるトータルQCの概念とGLP理念の理解。

検査試料のコンピュータ管理の実施。

(2) 機材供与及び試験環境の整備（廃棄物処理を含む）

(3) 研修員受け入れ及び人材育成

(4) 専門家派遣及び講演会、セミナーの開催

(II) プロジェクトの実績及び事業計画

プロジェクトが発足してから、1997年7月で3年9ヶ月となる。この間事業計画の沿ってプロジェクト活動を展開しており、全体的には順調に進展している。

1. プロジェクトの実績

プロジェクト発足当初は本検査所の機材設備、電気供給状況、管理機構等の実態調査から、試薬、実験器具類の市場調査及び関連機関の技術情報等、基盤整備に係る調査を行いプロジェクトの体制づくりを行い、その後実施計画に基づく協力活動を行った。現在までの活動実績の詳細は別添4に示すとおりである。

また、この期間の専門家派遣、研修員受け入れ、供与機材等の日本側及び中国側の投入実績の詳細は別添5-1、5-2に示すとおりである。その概略は次表のとおりである。

年度	93	94	95	96	97	98	合計
長期	1	1	3	3	3		11
短期	11	12	13	11	(7)17		54
研修員	2	5	5	5	5		22
機材	60	60	60	60	60		300
L.C	0	2.7	1.5	1.3	1.3		6.8

注：専門家は延べ人数、機材・L.Cは金額で単位百万円  
 専門家欄の（）内は現在派遣済みの人数

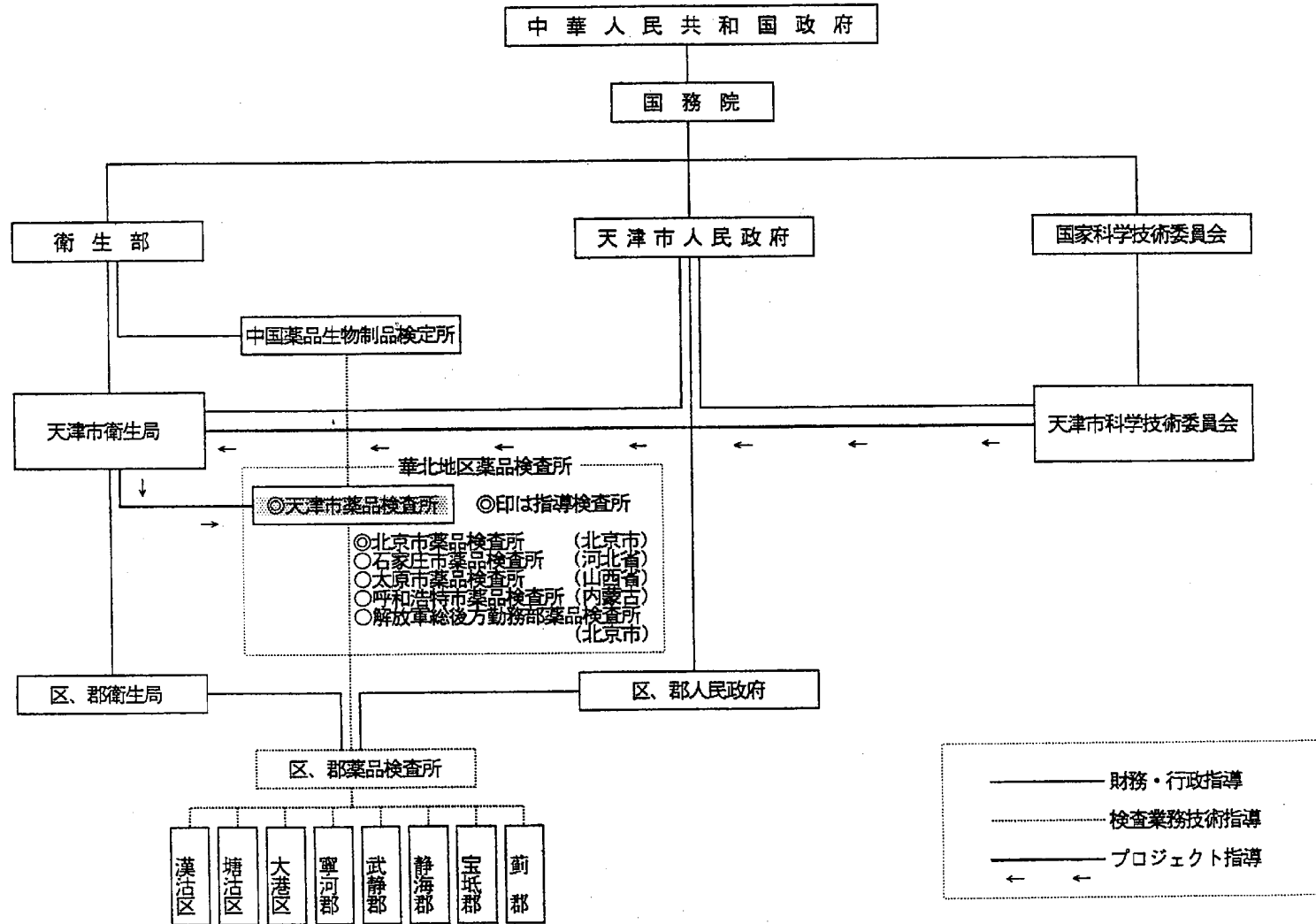
## 2. 事業計画

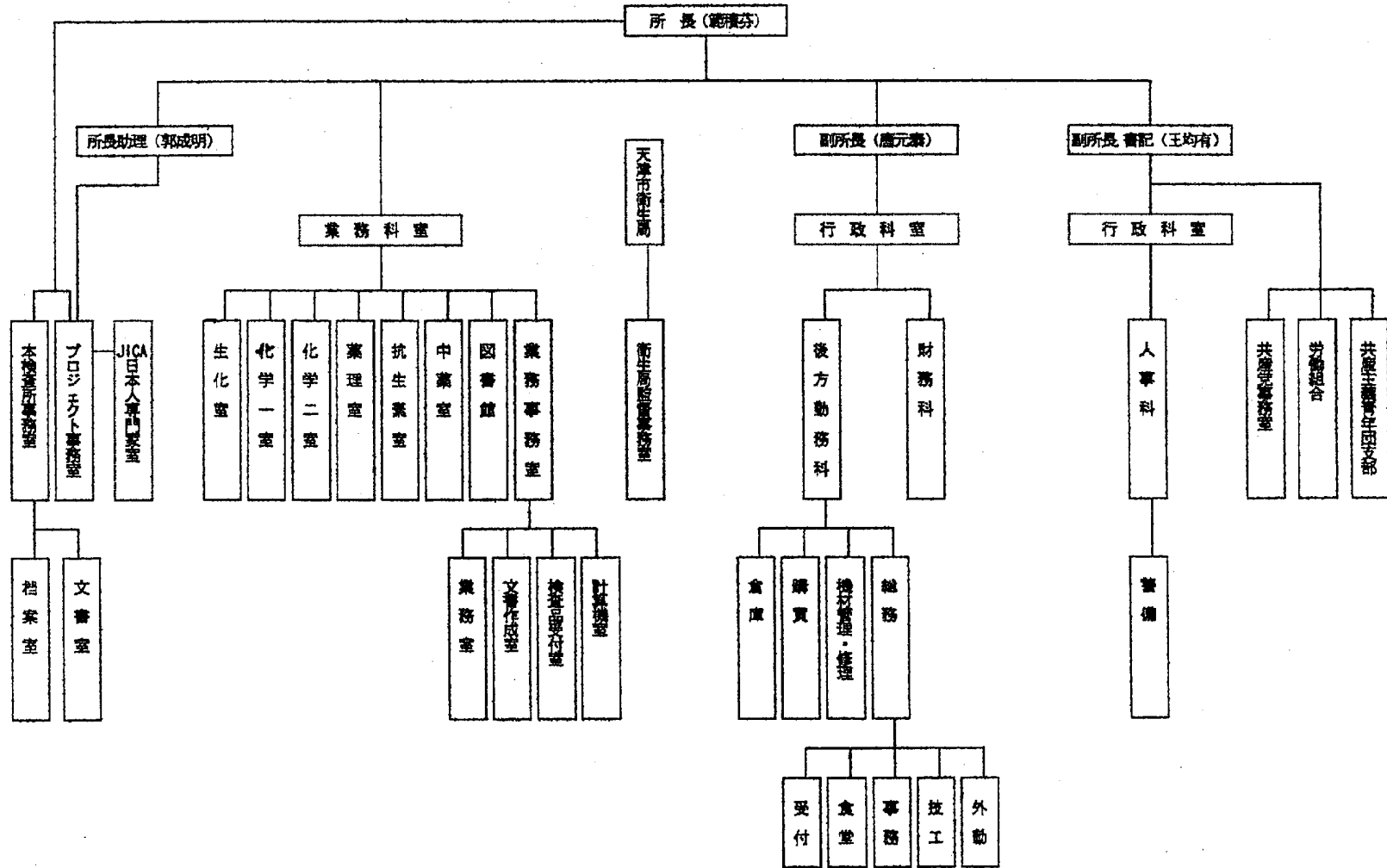
1994年8月の計画打ち合わせ調査団、1996年9月の巡回指導調査団により、プロジェクトの基盤整備状況及び活動の進捗状況を踏まえて、実施協議時に策定された暫定計画により具体化した実施計画が協議され、実施された。これは別添6に示すとおりである。

プロジェクト開始4年目の現在この計画に従って活動を実施している。



組織関係図





別添. 3

C / P 配置一覽表 (1)

平成9年度 第1四半期現在

分野	予算年 C/P名 月	配 置 状 況						本 邦 研 修		備 考 技術移転/技術習得状 況等に関するコメント等
		H5#(1993)	H6#(1994)	H7#(1995)	H8#(1996)	H9#(1997)	H10#(1998)	年度	主な研修先	
		4 7 0 1	4 7 0 1	4 7 0 1	4 7 0 1	4 7 0 1	4 7 0			
中 薬 室	◎呂焯宝	10/6								
	賈宗才	10/6								
	庄大信	10/6								逝去
	◎寿国香	10/6								
	◎吳貴華	10/6								
	王菊英	10/6								退職
	熊浦震	10/6								逝去
	◎呂曙華	10/6								
	龐其亮	10/6								
	李 健	10/6								
	◎王 傑	10/6								
	張蘭苓	10/6								
	郭景強	10/6								
	王麗娟	10/6								
	◎祁曉玲	10/6								
	李時放	10/6								
	馬 静	10/6								
	万立新	10/6								
◎張 紅	10/6									
◎李 旭	10/6									
化 学 1 室	◎劉樹春	10/6								
	方莫錫	10/6								
	◎王麗琴	10/6								
	◎王樹蘭	10/6								
	趙 哲	10/6								
	◎唐素芳	10/6								
	◎屈 穎	10/6								
	暎芳寧	10/6								
	劉美麗	10/6								
	李立儉	10/6								

別添. 3 C / P 配置一覽表 (2)

平成9年度 第1四半期現在

分野	予算年 C/P名 月	配 置 状 況					本 邦 研 修		備 考	
		H5年(1993)	H6年(1994)	H7年(1995)	H8年(1996)	H9年(1997)	H10年(1998)	年度		主な研修先
		4 7 0 1	4 7 0 1	4 7 0 1	4 7 0 1	4 7 0 1	4 7 0			
化学 1 室	●馬文詩	10/6	——	——	——	——			(JICA赴日研修生) 退職	
	陳雷	10/6	——	——	——	——				
	許萍	10/6	——	——	——	——				
	樊清揚	10/6	——	——	——	——				
	王蠟	10/6	——	——	——	——				
	金智珠	10/6	——	——	——	——				
	沈映華	10/6	——	——	——	——				
	◎林珊	10/6	——	——	——	——				
◎解文強	10/6	——	——	——	——					
化学 2 室	◎王祥	10/6	——	——	——	——				
	◎胡雅斐	10/6	——	——	——	——				
	劉国和	10/6	——	——	——	——				
	◎左文堅	10/6	——	——	——	——				
	張秀玲	10/6	——	——	——	——				
	沈元泳	10/6	——	——	——	——				
	◎左志輝	10/6	——	——	——	——				
	劉紅	10/6	——	——	——	——				
	黃曉蕾	10/6	——	——	——	——				
	◎田勇	10/6	——	——	——	——				
	◎王衛	10/6	——	——	——	——				
	◎邵健強	10/6	——	——	——	——				
	張瑞芬	10/6	——	——	——	——				
	◎劉軍	10/6	——	——	——	——				
◎陳素芳	10/6	——	——	——	——					

(物理)

分野	予算年 C/P名 月	配 置 状 況						本 邦 研 修		備 考 技術移転/技術習得状 況等に関するコメント等	
		H5年(1993)	H6年(1994)	H7年(1995)	H8年(1996)	H9年(1997)	H10年(1998)	年度	主な研修先		
		4 7 0 1	4 7 0 1	4 7 0 1	4 7 0 1	4 7 0 1	4 7 0				
生 化 室	◎李海生	10/6									
	李栄生	10/6				退職					
	孔祥苓	10/6									
	◎黄志東	10/6									
	◎黄哲甦	10/6									
	◎劉国英	10/6									
	李華龍	10/6									
	◎隋玉栄	10/6									
	張 宝	10/6									
	◎張 莉	10/6									
	◎劉 言	10/6				化学1異動					
楊雲沛	10/6					退職					
顧 雲	10/6				抗生素 から異動						
抗 生 素 室	◎袁文繪	10/6									
	劉桂蓮	10/6									
	劉啓先	10/6				退職					
	◎郭成明	10/6				所長助理(人事異動)					
	李俊傑	10/6					品質管理科主任助理				
	範 柏	10/6									
	◎曹曉雲	10/6									
	蘇 強	10/6									
	◎郭福慶	10/6									
	李 任	10/6					病氣休暇				
	◎王延明	10/6									
顧 雲	10/6				生化室異動						
袁 曄	10/6										
●袁 博	10/6				退職					95年6月に退職 (JICA赴日研修生)	

別添.3 C/P配置一覧表(4)

平成9年度 第1四半期現在

分野	予算年 C/P名 月	配 置 状 況					本 邦 研 修		備 考 技術移転/技術習得状 況等に関するコメント等	
		H5年(1993)	H6年(1994)	H7年(1995)	H8年(1996)	H9年(1997)	H10年(1998)	年度		主な研修先
		4 7 0 1	4 7 0 1	4 7 0 1	4 7 0 1	4 7 0 1	4 7 0			
薬 理 室	◎唐元泰	10/6								
	隋永娟	10/6								
	◎尹士敏	10/6								
	吳燕敏	10/6								
	孫淑蓮	10/6								
	◎劉雲	10/6								
	張月玲	10/6								
	房雅琴	10/6								
	◎韓晶	10/6								
	◎樓菁	10/6								
	◎苑慶華	10/6								
李元静	10/6									
葉志	10/6									

(註1) 配分状況はバーチャート方式により記入 ( ——— 配置実績    ~~~~~ 本邦研修 )。

◎印は派遣専門家が過去に直接指導したか、もしくは指導予定のカンターパートである。●印はJICA赴日研修員で退職したカンターパートである。

(註2) 分野は原則として、日本人専門家の担当分野(指導科目)に対応させる。

別添 4

活動実績一覧表 (1)

平成9年度 第1四半期現在

活動項目	予 算 年				平成5年度 (1993)				平成6年度 (1994)				平成7年度 (1995)				平成8年度 (1996)				平成9年度 (1997)				
	月	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1
初期実態調査活動																									
医薬品・試薬類の市場調査																									
全国検査所等実態調査																									
派遣専門家等実態調査																									
ミニレクチャー・学術発表会の開催																									





活動実績一覧表(3)

平成9年度 第1四半期現在

活動項目	予 算 年				平成5年度(1993)				平成6年度(1994)				平成7年度(1995)				平成8年度(1996)				平成9年度(1997)			
	月	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1			
GLP実施計画										4/1														
										GLPに関する講義を行い、SOPの作成を進め クロスチェックを行った。今後継続する予定。					機材配置図等を作成した。						大屋長期専門家により 機器分析を中心として 機器整備を実施予定。			
GMP講習会開催										5/26 — 6/3														
										2名のGMP専門家により 講義及び実際に査察を 実施し、指導を行う。														



別添5-1 日本側／相手側投入実績一覧表(2)

【専門家派遣及び機材供与】

平成9年度 第1四半期現在

細目	予算年	1993年(H5年)			1994年(H6年)			1995年(H7年)			1996年(H8年)			1997年(H9年)												
	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
専 門 家 派 遣	短期																									
	長期																									
	①貴志豊和(生薬:活性成分)																									
	②配島由二(抗生素:微生物)																									
	③塩田寛子(生薬規格)																									
	④派遣中止(薬品安定性)																									
	⑤森本和滋(生化学)																									
	⑥内藤克司(薬理・組織病理)																									
	⑦内田雄幸(薬理・組織病理)																									
	⑧小川義之(セミナー講師)																									
	⑨黒川雄二(セミナー講師)																									
	⑩尾崎幸紘(セミナー講師)																									
	⑪中路幸男(セミナー講師)																									
	⑫杉井篤(機器分析講座)																									
	⑬中田琴子(情報処理・検査管理)																									
	⑭尾崎幸紘(生薬薬理)																									
	⑮鈴木良実(医療廃棄物処理調査)																									
	⑯内倉和雄(機器分析キャビネー)																									
	⑰矢原正治(生薬)																									
	⑱石橋無味雄(薬品分析技術)																									
	⑲大野尚仁(微生物学)																									
	⑳吉岡澄江(薬品安定性)																									
	㉑坂上吉一(抗生物質分析)																									
	㉒未定(薬理免疫毒性)																									
	㉓内藤克司(薬理組織病理診断)																									
	㉔水野左敏(セミナー講師)																									
	㉕早川(セミナー講師)																									
	㉖徳永能史(機器据付、操作指導) ホリグラフシステム																									
	㉗須藤基(機器据付、操作指導) マイクロプレートリーダー																									
	㉘田村弘志(機器据付、操作指導) 自動滴定器																									

別添5-1 日本側／相手側投入実績一覧表(3)

【専門家派遣及び機材供与】

平成9年度 第1四半期現在

細目		予算年	1993年(H5年)												1994年(H6年)												1995年(H7年)												1996年(H8年)												1997年(H9年)																																																																																																																																			
		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3																																																																																																																								
機材	供与機材	当年度	○液クロ、ガスクロ(LC-10A) 紫外分光光度計(UV-2201) 赤外分光光度計(FTIR-8101) 自動単2台、自動滴定装置、PHメーター 希釈高速遠心機、電子天秤等 △複写機、空調機、ビデオデッキ 純水製造装置、顕微鏡、パソコン 合計 64,304,084円																																				○原子吸光, クリーンベンチ 高圧滅菌器, 恒温水浴 自動分注器, PHメーター HPLC, UV, 細菌用培養器 微粒子カウンター, 自動滴定 △ 合計 60,000,000円																																				○キャピラリー電気泳動システム HPLC, 崩壊試験器 自動染色装置, ミクローム 浸透圧測定器, 恒温高湿槽, 溶出試験器 △ネットワークシステム, 印刷機 エントキシ毒素測定装置 合計60,000,000円																																				○ガスクロ, マイクロプレートリーダー エントキシ毒素測定器 ホリグラフ, HPLC, 高圧滅菌器, 自動滴定, その他 △蛋白質測定器 合計60,000,000円																																				○キャピラリー電気泳動(2) HPLC(2), FIA分析器 LPLC, 溶出試験器, クリーンルーム, パラフィン包埋 △フロースルーセル溶出試験器 パーソナルコンピュータ 合計60,000,000円																																			
	携行機材	○OHP, 各種カラム, 専門書籍, パソコン △フックシミリ																																				○パソコン, 複写機, ホットスターラー, 各種カラム, テスター, GC-MS部品, 書籍等 合計7,844,428円																																				整理中																																				整理中																																				整理中																																				

(註1) 長期専門家、短期専門家とも、氏名、指導科目、派遣期間(日付入パーチャート)を記入。

(註2) 機材の欄には、本邦購送分(○)と現地調達分(△)に分けて年度毎の合計金額及び主要品目名を記入。



別添5-2 日本側／相手側投入実績一覧表(3)

【研修員受入、現地活動経費、相手国側投入実績、その他】

平成8年度 第2四半期現在

予算年 細目	1993年(H5年)												1994年(H6年)												1995年(H7年)												1996年(H8年)												1997年(H9年)											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
相手国側 投入実績													予算40万元												30万元												20万元												20万元											
C/P及び事務職員 専門家事務室																																																												
当該計画運営費																																																												
旧館再建計画																																																												
無菌室改造																																																												
新館環境改善計画																																																												

別添5-2 日本側／相手側投入実績一覧表(4)

【研修員受入、現地活動経費、相手国側投入実績、その他】

平成9年度 第1四半期現在

細目	1993年(H5年)			1994年(H6年)			1995年(H7年)			1996年(H8年)			1997年(H9年)					
	4	5	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7			
相手国側 投入実績	(予算内訳)						(職員数)						(主要調達資機材)					
	機材購入費 図書資料購入費 外事接待費 所員養成費 出張旅費 交通輸送費 事務経費 建物修繕費 車検付加費 通信運搬費 雑費						行政管理職員 22名 業務技術職員 177名 総務関連職員 19名						・空調機 15台 ・水浴 4台 ・実験機器 各種数台 ・実験台 20台 ・コンピュータ 5台 ・その他					
調査団							8/23 — 8/31 計画打ち合せ調査団 (7名)						9/17 — 9/24 巡回指導調査団 (8名)					
リーダー会議							なし						大倉洋甫リーダー出席					
調整員会議							中国内調整員会議開催						パリで開催					
国内委員会等	随時開催。						専門家帰国後定期的に開催している。						"					

天津医薬品検査技術プロジェクト当初協力計画及び実施状況（分野別）

分野		薬品分析								
活動 / 年月	93年11月～94年3月	94年4月～95年3月	95年4月～96年3月	96年4月～97年3月	97年11月～98年3月	98年4月～98年10月	備考			
年度	1年目		2年目	3年目	4年目	最終年				
到達目標	薬品の規格、安定性、薬用分析への新技術の応用などについて習得する。	年別目標	専門家の派遣： 1. 薬品分析 (規格並びにFT-IR) C/Pスタッフ養成： 1. 安定性試験	専門家の派遣： 1. 安定性試験	専門家の派遣： 1. 薬品の安定性 C/Pスタッフ養成： 1. 薬品分析 (規格並びにFT-IR)	専門家の派遣： 1. 薬品分析(新技術) C/Pスタッフ養成： 1. 薬品分析(新技術) (コンピュータの応用)	専門家の派遣： 1. 薬品分析(新技術)			
専門家の派遣	1. 長期専門家	指導課題		1. 薬品分析の基礎と応用	1. 薬品分析の基礎と応用			国内支援機関 国立衛生試験所 国立衛生試験所 明治薬科大学等		
	2. 短期専門家		1. 薬品分析 イ) 医薬品の規格のあり方 ロ) FT-IRの実施指導	1. 安定性試験の基礎と応用 イ) 生物学的利用度、同等性の考え方 ロ) 溶出試験法の実施指導 ハ) セミナー講師	1. 薬品の安定性 イ) 安定性試験の考え方 ロ) セミナー講師		1. 薬品分析(新技術) イ) 光学異性体医薬品の考え方 ロ) HPLCによる分離分析の実地指導 ハ) 毛細管電気泳動装置による分離分析の実地指導			
C/Pスタッフ養成計画		指導課題	1. 安定性試験 イ) 生物学的利用度、生物学的同等性の基本的な考え方 ロ) 各種溶出試験法の実習(70℃法を含む)	1. 薬品の安定性 イ) 安定性試験の基本的な考え方 ロ) 安定性試験の実習	1. 薬品分析 イ) 医薬品の品質規格のあり方 ロ) FT-IRの実習 ハ) 赤外線吸収スペクトルによる構造解析の実習	1. 薬品分析(新技術) イ) 光学異性体医薬品の基本的な考え方 ロ) HPLCによる分離分析の実習 ハ) 毛細管電気泳動装置による分離分析の実習 2. 薬品分析(コンピュータ) イ) 各種ソフトウェアの操作条件の最適化への応用 ロ) 種々のデータ処理技術の習得	C/P研修実施機関	国立衛生試験所 国立衛生試験所 明治薬科大学等		
機材供与計画	1. 供与機材	品目	1. FT-IR 2. HPLC 3. 原子吸光光度計 4. UV 5. 電子天秤	1. 溶出試験器 2. コーヒーガンナー	1. 毛細管電気泳動装置					



天津医薬品検査プロジェクト当初協力計画及び実施状況（分野別）

分野	機器分析（一般薬品分析を含む）	活動 / 年月	93年11月～94年3月	94年4月～95年3月	95年4月～96年3月	96年4月～97年3月	97年11月～98年3月	98年4月～98年10月	備考
		年度	1年目	2年目	3年目	4年目	最終年		
到達目標	1. 各種分析機器及び器具類の整備及びその有効利用技術の確立 2. 新技術を含む機器分析方法の薬品分析への応用	年度別目標	1. 現有機器の整備 2. 供与機材の受入体制の確立（電気容量等） 3. 新技術の基礎的検討	1. 現有機器の調整 2. 天然物からの活性成分単離技術の確立 3. 新技術の基礎的検討		1. 一般分析機器類の保守、管理技術の確立			
		指導課題							
専門知識派遣	1. 長期専門家 2. 短期専門家	指導課題	機器分析法の薬品分析への応用	機器分析法の生薬活性成分の単離及び構造決定への応用					国内派遣 熊本大学
		指導課題							
C/Pシステム構築計画		指導課題	GC-MS技術の習得と薬品分析への応用		生薬活性成分の単離と構造決定技術	一般分析機器の保守管理			C/P研修 国立衛生試験所 熊本大学
		指導課題							
機材供与計画	1. 供与機材	品目	1. 高速液体クロマトグラフ (HPLC) 2. ガスクロマトグラフ (GC) 3. フーリエ変換赤外線分光光度計 (FT-IR) 4. 紫外可視分光光度計 (UV) 5. その他	1. 高速液体クロマトグラフ (HPLC)	2. 毛細管電気泳動装置				

天津医薬品検査技術プロジェクト当初協力計画及び実施状況（分野別）

分野		中 薬								
活動 / 年 月	93年11月～94年3月	94年4月～95年3月	95年4月～96年3月	96年4月～97年3月	97年11月～98年3月	98年4月～98年10月	備 考			
年 度	1 年 目		2 年 目	3 年 目	4 年 目	最 終 年				
到達目標	年度別目標 1. 生薬・漢方製剤の機器による規格検査方法の確立 2. 生薬・漢方製剤の薬理試験法の基礎的技術の習得 3. 生薬・漢方製剤の活性成分の標準品の取得法習得 4. 生薬・漢方製剤の活性成分の標準品の研究法習得	生薬及び漢方製剤の機器分析 (1) ・ HPLC, GCによる成分分析法 ・ 有害重金属の含有量検査 (原子吸光)	生薬及び漢方製剤の機器分析 (2) ・ 残留農薬の分析 (GC, HPLC及びGC-MS) ・ 活性成分の解明と分析 (GC, HPLC及びGC-MS)	中薬の薬理試験法の基礎的理解	中薬の有効成分の純品の取得法と成分の定量分析					
専門家派遣	指導課題 1. 長期専門家 2. 短期専門家		漢方薬規格と検査方法機器とりわけカラムグラフを使用した生薬及び漢方製剤の検査方法の指導	生薬分析法の指導 有効成分、異物や有害物	中薬（薬用植物、製剤）の薬理試験に関する種々の基礎的方法の指導				国内支援機関 神戸薬科大学 熊本大学	
C/Pスタッフ養成計画	指導課題	漢方薬規格と検査方法 公共検査機関による生薬及び漢方製剤の検査の現状の視察  企業における生薬及び漢方製剤の検査及び品質管理の実務・視察	機器を利用した中薬に用いられる薬用植物の有効成分の分離と構造決定法の研修  大学など研究機関で薬用植物からの有効成分の抽出、その構造の解明の研究手法を取得する	中薬薬理の種々の基礎的方法の研修  中薬薬理を研究するための最も基礎的で代表的ないくつかの方法を研究機関で研修し習得する	中薬の有効成分の純品を取得する方法とこれを使用した定量分析の研修  標準となり得る純品の取得法と定量分析法を大学などの研究期間で習得する				C/P研修実施機関 神戸薬科大学 熊本大学 国立衛生試験所他	
機材供与計画	品 目		1. 高速カマトグラフ (ホフ、UV検出器、インジェクター、処理装置) 2. ガスクロマトグラフ (水素発生器付属) 3. 原子吸光 4. 紫外可視分光光度計	1. 偏光顕微鏡 1 2. 高速カマトグラフ用 屈折率検出器 (含マイクログラフ) 1 3. 蛍光検出器 1						

天津医薬品検査プロジェクト当初協力計画及び実施状況（分野別）

分野		抗生物質								
活動 / 年月		93年11月～94年3月	94年4月～95年3月	95年4月～96年3月	96年4月～97年3月	97年11月～98年3月	98年4月～98年10月	備考		
年度		1年目		2年目	3年目	4年目	最終年			
到達目標	抗生物質医薬品の試験検査技術の向上	①抗生物質の力価試験に関し、人材育成を行う。			②抗生物質の力価試験に関し、人材育成を行う。	③抗生物質の力価試験に関し、人材育成を行う。 専門家により検査所抗生物質の検査体制の整備、指導を実施する。	④抗生物質のおお試験検査体制の全般につき同検査所において整備、指導を実施する。			
	1. 長期専門家 2. 短期専門家 ①抗生物質（微生物）1名 ②抗生物質（物理化学分析）1名					①抗生物質の微生物学的方法による試験 1996. 4～1996. 9(2M)	②抗生物質の物理化学的方法による試験 1997. 4～1996. 5(2M)		国内交流機関	
C/Pスタッフ養成計画		①抗生物質の微生物学的方法による試験とHPLCによる試験法 1994. 3～8(6M)			②抗生物質の微生物学的及び物理学的的方法による力価試験法 1995. 4～9(6M)	③抗生物質の力価試験及び安全性試験法 1996. 4～9(6M)			C/P研修実施機関 国立予防衛生研究所（細菌・血液制御部及び抗生物質室）	
	1. 供与機材	1. HPLC 1 2. 電子天秤 1 3. ローリーハポレーター 1 4. PHメーター 1 5. 恒温乾燥器 1 6. 恒温水槽 1 7. 超音波洗浄器 1 8. ネットワークスター 2 9. 伸縮架 2 10. 真空ポンプ 1 11. ネットワークミキサー 1		1. 自動閉止円測定装置 1 2. カブトローパー 2 3. クリーンベンチ 2 4. 高圧滅菌器 2 5. 乾燥器 2 6. 培養箱（細菌） 2 7. 培養箱（真菌） 1 8. 無菌試験フューエルター 2 9. 薄層プレート紫外検出器 2 10. 冷蔵庫 2 11. 電子レンジ 1 12. 真空ポンプ 1 13. 恒温水槽 2 14. 自動測定装置 1 15. 乾燥器水分測定器 1 16. 偏光顕微鏡 1 17. 遠心機 1 18. 凍層加温装置 1 19. PHメーター 1 20. マイクロピッカー 2 21. 電子天秤 1 22. 遠心機 1 23. 紫外可視分光光度計 1 24. 旋光計 1					* 3年目以降の機材については長期専門家着任後、更に現状を把握した上で決定する。	

天津医薬品検査技術プロジェクト当初協力計画及び実施状況（分野別）

分野		薬理								
活動 / 年月		93年11月～94年3月	94年4月～95年3月	95年4月～96年3月	96年4月～97年3月	97年11月～98年3月	98年4月～98年10月	備考		
年度		1年目		2年目	3年目	4年目	最終年			
訪問調査	2. 医薬品の安全性試験と生物安定等評価法の習得	年度別目標		2. 安全性・毒性試験・生物安定の実務（リムルス試験）						
	1. 長期専門家		指導課題						国内文庫機関	
2. 短期専門家				安全性・毒性試験・生物安定についての指導 95. 10(1M)						
C/P/Nスタッフ養成計画		指導課題		2. 安全性・毒性試験・生物安定の実務の習得(1M)試験 95. 5～10(6M)					C/P/N研修実施機関	
	1. 供与機材		1. 天秤	1. 冷凍庫(-80°)	1. エンドトキシ測定装置(中国製：天津大学) 2. 自動発色装置 3. 組織脱水固定装置 4. ミクロトーム 5. HPLC 6. ブレンダー 7. 超音波洗浄器					
機材供与計画		品目								

天津医薬品検査プロジェクト当初協力計画及び実施状況（分野別）

分野		生物化学		活動 / 年月		93年11月～94年3月	94年4月～95年3月	95年4月～96年3月	96年4月～97年3月	97年11月～98年3月	98年4月～98年10月	備考
年度		1 年 目		2 年 目		3 年 目		4 年 目		最 終 年		
至 道 回 機	タンパク質、糖タンパク質、多糖質タイプの生物化学薬品の分析法とそれらの品質規格設定を目標とする。	年度別目標			95.10～96.3 (3M×2)				97.4～97.7 (3M×2)			
					タンパク質、糖タンパク質、多糖質などの分析法を検討する。			タンパク質、糖タンパク質、多糖質などの分析法を検討する。				
専 門 家 派 員	1. 長期専門家	派遣課題										国内 支 援 機 関  東京薬科大学
	2. 短期専門家			95.10～95.12 タンパク質と糖タンパク質の分析法の検討 96.1～96.3 多糖質の分析法の検討			95.10～95.12 タンパク質と糖タンパク質の分析法の確立 96.1～96.3 多糖質の分析法の確立					
C/ P ス タ ン ド ア リ ン 機 構 計 画		派遣課題		94.11～95.7(9カ月間) タンパク質、糖タンパク質及び多糖質の生化学的検査法とそれら薬品の品質規格の検討			96.6～97.2(9カ月間) タンパク質、糖タンパク質及び多糖質の生化学的検査法とそれら薬品の品質規格の設定					C/ P 研 究 実 施 機 関  東京薬科大学 国立衛生試験所
				タンパク質、糖タンパク質及び多糖質の生化学的検査法を確立するとともにそれら薬品の品質規格を設定する。								
機 材 供 与 計 画	1. 供与機材	品 目		1. 毛细管電気泳動装置1 (デ-処理システム付) 2. HPLC(3次元解析、分子量測定などのデ-処理システム付)装置 1 3. 可視紫外分光光度計 1 4. 冷却高速离心机 1 5. 冷凍乾燥機 1 6. フラクションレーター 1 7. ローターエバポレーター 2 8. インキュベーター 1 9. 恒温水槽 1 10. 電子天秤 1 11. PHメーター 1 12. マグネチックスターラー 2								

天津医薬品検査技術プロジェクト当初協力計画及び実施状況（分野別）

分野		薬事行政								
活動 / 年月		93年11月～94年3月	94年4月～95年3月	95年4月～96年3月	96年4月～97年3月	97年11月～98年3月	98年4月～98年10月	備考		
年度		1年目		2年目	3年目	4年目	最終年			
到達目標	1. 日本における医薬品審査システムについての理解									
	1. 長期専門家 2. 短期専門家			1. 新薬を含む国における承認審査システム技術についての解説 2. 地方庁における医薬品の承認審査システム技術についての解説					国内支援機関	
C/Pスタッフ養成計画					日本における薬事行政の概要、実施、施行状況について、国、地方庁の担当者から講義を受け、実際の状況について視察する。 (JICHELISの研修利用)				C/P研修実施機関	
機材供与計画	1. 供与機材									

天津医薬品検査技術プロジェクト当初協力計画及び実施状況（分野別）

分野		品質管理(GMP, GLP等)		活動 / 年月		93年11月～94年3月	94年4月～95年3月	95年4月～96年3月	96年4月～97年3月	97年11月～98年3月	98年4月～98年10月	備考		
年度		1年目		2年目		3年目		4年目		最終年				
技術支援	1. 医薬品生産におけるGMP理念の理解 2. 医薬品生産におけるトータルQCの概念とその重要性を理解する。 3. 医薬品の安全性試験と生物検定等詳細法の習得	年次計画目標		1. GMP査察の実務 2. 生産現場における規格・作業標準書の管理 3. 安全性・毒性試験・生物検定の業務（リムルス試験）	1. バリデーション推進業務の理解 クレーム処理									
			専門支援	1. 長期専門家 2. 短期専門家	品質管理		上記1の項目についてアピネーション94. 4(1M)	上記2の項目についてアピネーション95. 4(1M) 安全性・毒性試験・生物検定についての指導95. 10(1M)						国内支援機関
							1. 医療用医薬品・一般用医薬品の生産現場の視察 企業における医薬品検査/品質管理の実務について検証94. 10(1M)	1. 医療用医薬品・一般用医薬品の生産現場の視察 企業における医薬品のバリデーション推進業務の検証 2. 安全性・毒性試験・生物検定の業務の習得(リムルス試験)95. 4～9(6M)					C/P研修実施機関	
C/Pオースタッフ養成計画		品質管理												
機材供与計画	1. 供与機材	品目			2. エンドトキシ測定装置(中国製：天津大学)									

年度別研究テーマ一覧表

年度	科室名	研究テーマ名(中国語)	研究テーマ名(日本語)	研究者名	指導専門家	発表年月	発表雑誌名	備考
1994	化学1室	氢溴酸美沙芬的含量及杂质测定的研究	Dextromethorphan hydrobromide含量及び不純物質の測定研究	方路錫, 趙哲				
1994	化学1室	HPLC法系統分析复方感冒药中主要成分的含量	HPLCにより風邪に効く複合剤の主成分含量の研究	劉樹春, 王樹蘭	柴崎利雄			
1994	化学1室	HPLC法測定复方地芬诺脂片双组份含量	HPLCによりTabellae Diphenoxylati Compositaeの2成分の顔料測定	馬文詩				
1994	化学2室	γ-苯丙氨酸酯有关物质检查及含量测定方法的研究	Pienprobamatiの類縁物質検査及び含量測定方法の研究	邵建强				
1994	化学2室	γ-苯丙氨酸酯片溶出度测定及含量测定方法的研究	Tabellae phenprobamati溶出度測定及び含量測定方法の研究	田勇				
1994	化学2室	硫酸沙丁胺醇及其片剂的有关物质检查及含量测定方法的研究	Salbutamoli sulfas及びその錠剤の類縁物質検査及び含量測定方法の研究	左文堅				
1994	化学2室	探亲避孕丸质量(有关物质)及含量测定方法的研究	Pilulae Anticonceptionis類縁物質検査及び含量測定方法の研究	胡雅斐				
1994	化学2室	盐酸丙卡特罗及其片剂的有关物质与含量测定的HPLC法研究	HPLCによる Procetamol Hydrochloride及びその錠剤の類縁物質検査及び含量測定方法の研究	王祥				
1994	化学2室	盐酸丙卡特罗片的溶出度, 含量均匀度, 及含量测定的双波长导数光谱法的研究	Procetamol hydrochloride錠の溶出度, 含量均一度及び二波長導関数法により含量測定の研究	王祥				
1994	化学2室	盐酸丙卡特罗片的溶出度测定--小杯法的研究	Procetamol Hydrochloride錠の溶出度測定--小カップ法の研究	王祥				
1994	抗生素室	头孢呋新的HPLC研究	HPLCによるCefuroxime含量測定の研究	李俊傑				
1994	抗生素室	丁胺卡那霉素的HPLC研究	HPLCによるAmikacin Sulfate分析	郭成明				
1994	抗生素室	HPLC法測定皮康栓中醋酸曲安缩松及硝酸米糠唑含量	HPLCによる Triamcinolone Acetonide Acetasと Miconazdi Nitras 複合剤含量測定研究	蘇強				
1994	生化室	五种甲状腺素类成分的分離及其應用	5種類サイロキシン成分の分離及び應用	李海生				
1994	中藥室	康艾特口服液质量标准的的研究	康艾特内服液品質規格の研究	張紅				
1994	中藥室	大孔树脂在测定中药复方制剂中药药式含量的应用	中藥複合剤に芍薬サポニン含量測定時における大孔樹脂の研究	寿国香				
1995	化学1室	麦角按咖啡因片溶出度及生物利用度的研究	Tabellae ergotamini et caffeiniの溶出度及び生物利用度の研究	馬文詩, 沈映華	青柳伸男			
1995	化学1室	气相色谱法测定混痛尔的含量(复方薄荷脑注射液)	GCによるdl-メントールおよび塩基リドカインの複合剤の含量を測定	屈頤, 金智珠	柴崎利雄			
1995	化学1室	原料药残留溶媒检查方法的研究	原料药残留溶媒検査方法の研究	劉樹春等	柴崎利雄			



年度別研究テーマ一覧表

年度	科 室 名	研究テーマ名 (中国語)	研究テーマ名 (日本語)	研究者名	指導専門家	発表年月	発表雑誌名	備 考
1995	化学1室	魯麻顆粒剤の含量測定	Phenobarbitalum及び麻黄複合顆粒剤含量を測定	劉樹春等	山口定男			
1995	化学1室	GC-MS揮発油測定	GC-MSによる精油の成分測定	劉樹春等	山口定男			
1995	化学2室	甲磺酸培高利特片溶出度の研究	Pergolide mesylate錠 (化学薬品の新薬の一種) の溶出度研究	胡雅斐	青柳伸男			
1995	抗 生 素	盐酸地塞米松片溶出度研究	Dexamethasoni錠溶出度の研究	左文堅	青柳伸男			
1995	抗 生 素	硫酸培普利欧霉素的HPLC測定方法	HPLCによる硫酸ペブリオマイシン測定方法	李俊傑	山口定男			
1995	抗 生 素	HPLC法測定米诺环素含量	HPLCによるミノマイシンの含量を測定	郭成明	山口定男			
1995	抗 生 素	复方头孢氨苄胶囊溶出度方法的建立	Cefalexin複合capsulaeの溶出試験法の確立 (柴崎専門家指導)	曹曉雲	柴崎利雄			
1995	抗 生 素	抗 生 素 微 生 物 檢 定 法 杯 碟 法 和 打 孔 法 的 比 較	抗生物質のバイオアッセイ法と穿孔法の比較	曹曉雲				
1995	抗 生 素	羟氨苄青霉素顆粒剂稳定性研究	Amoxicillinum顆粒剂 (multidose) の安定性研究	範 柏	山口定男			
1995	中 药 室	四环素有关杂质检查方法的研究	Tetracycline不純物質検査方法の検討	袁雯玮	山口定男			
1995	中 药 室	开元活血膏的质量标准研究	開元活血膏品質規格の研究	王 傑	貴志豊和			
1995	中 药 室	醒腦治癱胶囊质量标准的研究	醒腦治癱カプセルの品質規格研究	呂曉華	貴志豊和			
1995	中 药 室	粘膜潰瘍粉质量标准的研究	粘膜潰瘍粉の品質規格研究	張蘭玲	貴志豊和			
1995	薬理室	牛黄上清丸质量标准的研究	牛黄上清丸の品質規格研究	王麗娟	貴志豊和			
1995	薬理室	胰岛素和脱酰胺胰岛素测定方法 (HPLC) 生物测定法	インシュリン及びDeacylamied insulin 測定法とバイオアッセイ測定法の比較	唐元泰, 芮菁, 苑慶華				
1995	化学1室	体外胚胎培养进行致畸试验	ピトロ胚胎培養法によるTeratogenicity試験法の研究	韓 晶				
1995	化学1室	格列苯脲片剂的含量及有关物质的研究	Glibenclamidum中の類縁物質研究及びClibenclamidum錠の定量法の研究	張秀玲	山口定男			
1996	化学1室	GC法測定依芬那酯乳膏含量	GCによるYiTuoFenNaZhi乳膏の含量測定	屈 頤				
1996	化学1室	HPLC法測定利多卡因肾上腺素含量	HPLCによるリドカインアドレナリンの含量測定	郭方宁				
1996	化学1室	栓剂溶出度测定方法研究	座剤の溶出度測定方法についての研究	劉樹春				
1996	化学1室	原子吸收法測定腹膜透析液中Ca#Mg#含量	原子吸光法による腹腔膜透析液中のCa#Mg#の含量測定	劉美玲				
1996	化学2室	微粒检查方法比较实验研究	微粒子検査法の比較試験についての研究	劉樹春				
1996	化学2室	解热镇痛药的毛细管电泳色谱法	キャピラリ電気泳動法による解熱鎮痛薬の測定	左文堅				
1996	化学2室	甾体皮质激素类药物的毛细管电泳色谱法	キャピラリ電気泳動法による類薬の測定	王 卫				

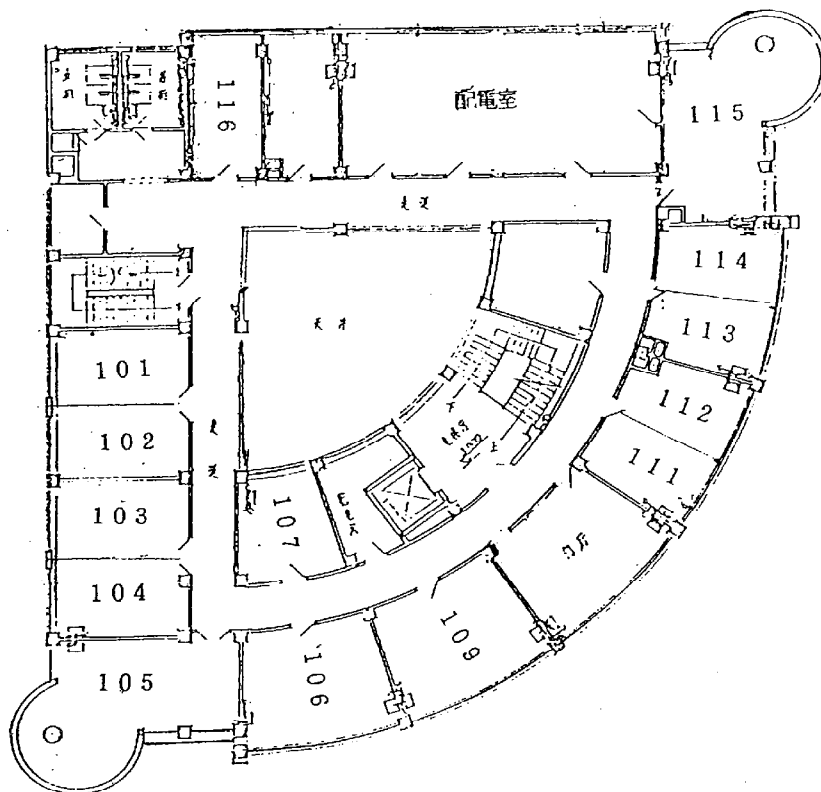
年度別研究テーマ一覧表

年度	科 室 名	研究テーマ名 (中国語)	研究テーマ名 (日本語)	研究者名	指導専門家	発表年月	発表雑誌名	備 考
1996	化学 2 室	伤风止咳糖浆的含量测定方法	ShangFengZhiKeTangJiang含量測定法の研究	姚大昕				
1996	化学 2 室	利多卡因肾上腺素注射液含量测定方法的研究	リドカインアドレナリン注射液の含量測定法についての研究	霍秀敏				
1996	化学 2 室	利降平片的含量测定方法的研究	LiJiangPing錠の含量測定法についての研究	劉国和				
1996	化学 2 室	联磺甲氧苄啶片的含量测定方法的研究	LianHuangJiaYangMiDing錠の含量測定法についての研究	左文堅				
1996	化学 2 室	艾地苯醌片的稳定性考察	AiDiBenKun錠の安定性考察	田勇				
1996	化学 2 室	长春西汀片有关物质测定方法研究及其影响因素稳定性考察	ChangChunXITing錠の成分測定法及びその安定性に関する影響因子についての考	張用玲				
1996	化学 2 室	兰索拉唑片有关物质测定方法研究及其影响因素稳定性考察	ランソラゾール錠の成分測定法及びその安定性に関する影響因子についての考査	左文堅				
1996	抗生素	压得克片有关物质测定方法研究及其影响因素稳定性考察	アデク錠の成分測定法及びその安定性に関する影響因子についての考査	胡雅斐				
1996	抗生素	三株口服液的稳定性考察	Three strain口服液の安定性についての考査	曹曉雲				
1996	抗生素	对注射用头孢唑啉溶液澄清度影响因素的探讨	注射用Cefazolium溶液の明度の影響因子にたいする検討	範柏				
1996	抗生素	氨苄青霉素中青霉素含量测定	Ampicillin中のペニシリン含量測定	李俊傑				
1996	抗生素	乳酸菌素的体外抑菌试验	RuSuanJun体外制菌試験	李俊傑				
1996	抗生素	土霉素及其有关杂质的HPLC	Oxytetracycline及び関する混在物のHPLCによる測定法	郭成明				
1996	抗生素	环丙酮胺的HPLC	Ciclopirox Olamine軟膏のHPLCによる測定法	郭成明				
1996	抗生素	盐酸特比萘酚乳膏中苯甲醇含量气相色谱测定	GCによる塩酸terbinafin乳膏中のベンジルアルコールの含量測定法	袁雯玮				
1996	抗生素	注射用头孢哌酮钠稳定性考察	注射用Cefoperazone sodium安定性考査	王延明				
1996	抗生素	单剂量羟氨苄青霉素颗粒剂稳定性考	Amoxicillin顆粒剤の安定性考査	範柏				
1996	中药室	五参胶囊中栀子甙的含量测定方法研究	WuShenカプセル中のGeniposideの含量測定法についての研究	吳貴華				
1996	中药室	蛤青注射液中黄芪甲甙的测定方法研究	Geqing注射液中のAstragalosideの測定法についての研究	郭景強				
1996	中药室	真心平中元胡素乙素的测定方法研究	ZhenXinPingカプセル中のTetrahydropalmatineの測定法についての研究	王傑				
1996	中药室	紫雪中有害元素的测定	Zixue有害元素の測定	卢其亮				

年度別研究テーマ一覧表

年度	科室名	研究テーマ名(中国語)	研究テーマ名(日本語)	研究者名	指導専門家	発表年月	発表雑誌名	備考
1996	中药室	氨基酸、芍药甙对照品の研制	Chlorogenic acidとPaeoniflorinの標準品の研究と精製	寿国香				
1996	中药室	两面针中生物碱的提取分离	Zanthoxylum(Roxb)DC中の 単離	王傑				
1996	生化室	对沙雷肽酶片含量测定方法改进	Serrapeptase錠の含量測定法の改良	孔祥苓				
1996	生化室	脱酰氨胰岛素含量测定中国盘电泳法(disc electrophoresis)与平板电泳法(slab electrophoresis)之比较	Cisc電気泳動法とSlab電気泳動法によるDeamino insulinの含量測定の比較	陳曉霞				
1996	生化室	用二阶导数光谱法测定18种氨基酸注射液中色氨酸, 苯丙氨酸, 酪氨酸三种组分的含	二衍導関数スペクトル法による18種アミノ酸注射液の中Ser、PhaとTyrの含量測定	张莉				
1996	生化室	HPLC法测定天然胡萝卜素胶丸中β-胡萝卜素的含量	HPLC法による天然カロチンカプセル中のβ-カロチンの含量測定	黄志東				
1996	生化室	HPLC在有关物质检查峰高与峰面积对小峰积分结果的影响考察	HPLC法での試験検査における高さと同面積計量法による小さいの積分成績に与える影響の考察	李海生				
1996	药理室	几种抗炎中草药对动物痛风关节炎的疗效观察	数種類の抗炎症薬の動物のリューマチ関節炎に対する薬効の観查	劉雲				
1996	药理室	盐酸氟桂利嗪胶囊吉非罗齐胶囊两种口服制剂在家兔体内等效性的比较	Flunarizine HydrochlorideカプセルとGemfibrozilカプセルのウサギ体内における生物同等性の比較	吳燕敏				
1996	药理室	保健药品的致突变筛选	保健医薬品の変異性のスクリーニングテスト	韓晶				
1996	药理室	藻酸双酯钠含量测定与生物测定的关系研究及对临床用药的指导意义	Poly saccharide sulphateの含量測定と生物測定との関係についての研究及びその臨床的な指導意義	尹士敏				
1996	药理室	使用凝胶法比浊法及比色法三种内毒素测定法对中日两国内毒素标准品进行比较研究	ゲル化法, 比濁法と比色法による測定法及び中日両国のエンドトキシン標準品に対する比較研究	苑慶華				
1996	药理室	热源品种用LAL检验的可行性研究	LAL法による中国薬典に収載されたパイロジェンを測定する可能性の研究	苑慶華				
1996	药理室	静脉注射给药对血管刺激影响的反应	静脈注射投与方法による血管に与える刺激及びその反応	劉雲				

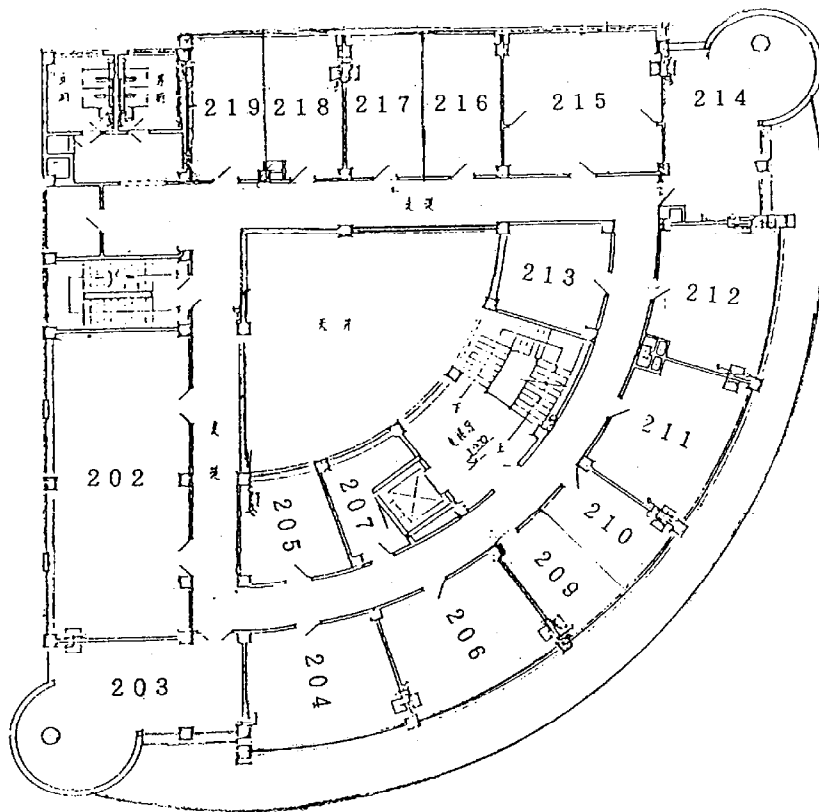




① 天津市藥品檢查所新館一階部分平面圖

(業務科・生化室)

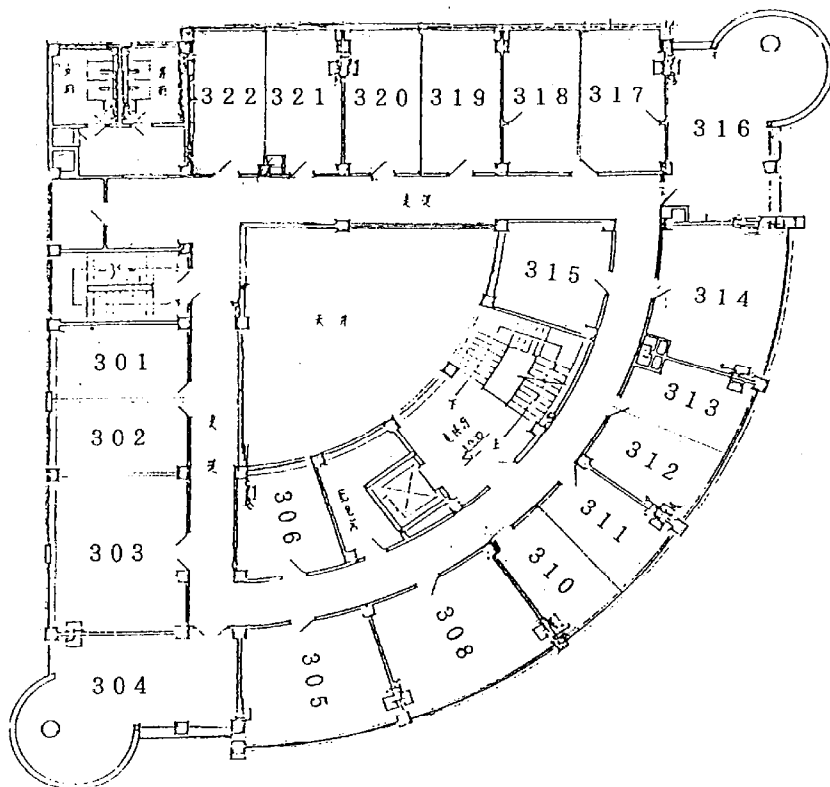
部屋番号	部屋名
A101	計算機室
A102	計算機室
A103	計算機室
A104	計算機室
A105	業務科
A106	業務科
A107	コピー室
A108	配電室
A109	検品受付室
A110	
A111	受付(守衛室)
A112	生化スタッフ室
A113	生化スタッフ室
A114	
A115	衛生局計算機室
A116	業務科検品資料倉庫



② 天津市藥品検査所新館二階部分平面図

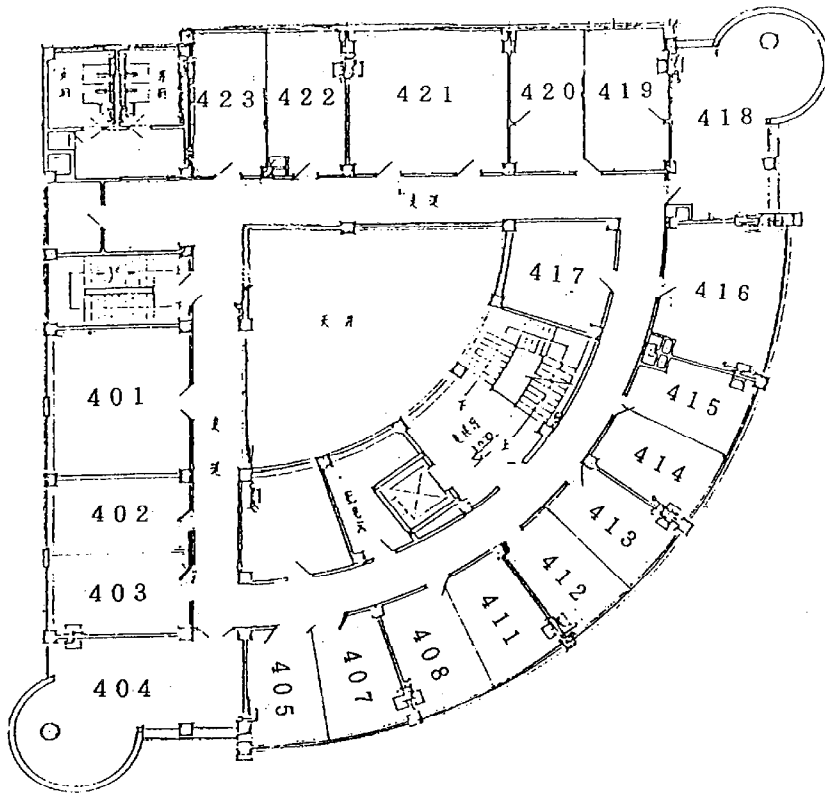
(生化室・プロジェクト関係)

部屋番号	部屋名
A201	
A202	会議室
A203	接客室
A204	所事務室
A205	コピー印刷室
A206	プロジェクト事務室および所長室
A207	配電室
A208	配電室
A209	生化主任室
A210	生化資料室
A211	生化スタッフ室
A212	生化スタッフ室
A213	生化天秤室
A214	生化実験室
A215	JICA日本人専門家室
A216	JICA日本人専門家室
A217	JICA日本人専門家室
A218	生化実験室
A219	生化洗淨室
A220	生化更衣室



③ 天津市藥品檢查所新館三階部分平面圖 (化學二室)

部屋番号	部屋名
A301	
A302	プロジェクト機器室
A303	プロジェクト機器室
A304	化学2実験室
A305	化学2スタッフ室
A306	化学2機器室
A307	配電室
A308	化学2スタッフ室
A309	
A310	化学2主任室
A311	化学2機器室
A312	化学2機器室
A313	化学2機器室
A314	化学2スタッフ室
A315	天秤室
A316	化学2実験室
A317	化学2実験室
A318	化学2機器室
A319	化学2試薬室
A320	化学2機器室
A321	化学2機器室
A322	洗浄室
A323	洗浄室
A324	更衣室

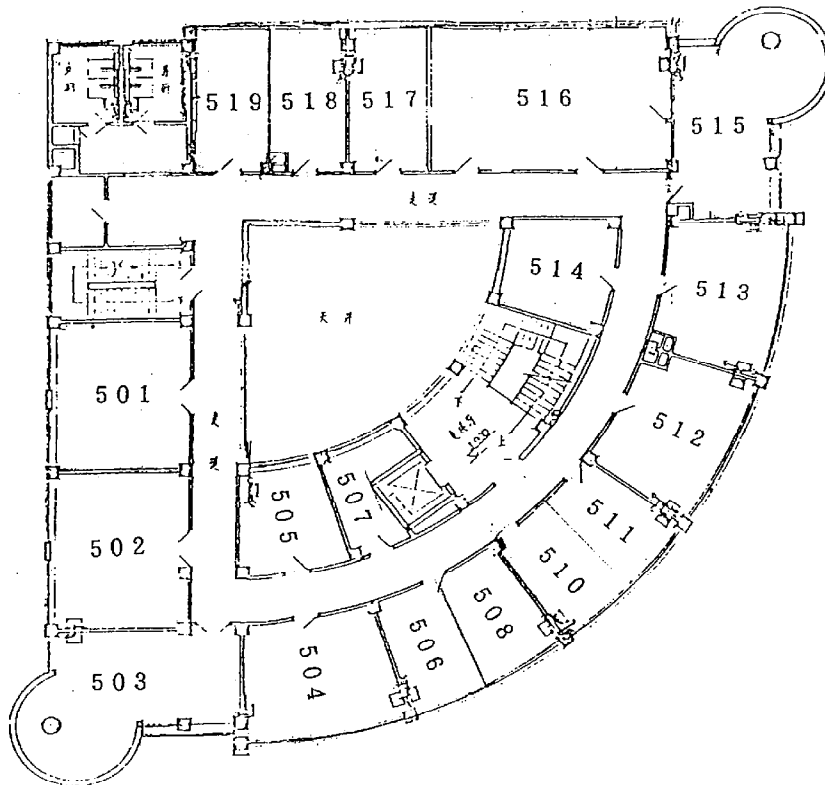


④ 天津市藥品檢查所新館四階部分平面圖

(化学一室)

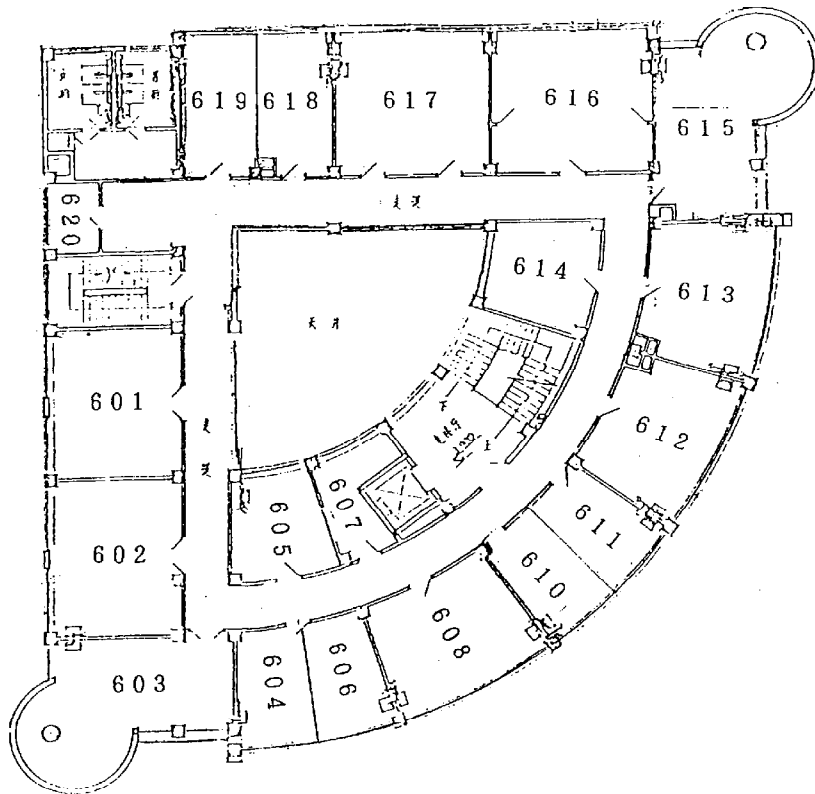
部屋番号	部屋名
A401	化学1実験室
A402	化学1試薬標準品室
A403	化学1機器室
A404	化学1実験室
A405	化学1機器室
A406	化学1機器室
A407	化学1スタッフ室
A408	化学1スタッフ室
A409	配電室
A410	化学1スタッフ室
A411	化学1スタッフ室
A412	周静遠顧問控室
A413	化学1主任室
A414	黄喬書名誉所長控室
A415	日本専門家控室
A416	化学1スタッフ室
A417	更衣室
A418	化学1機器室
A419	化学1機器室
A420	天秤室
A421	化学1実験室
A422	化学1実験室
A423	洗淨室
A424	化学1スタッフ室





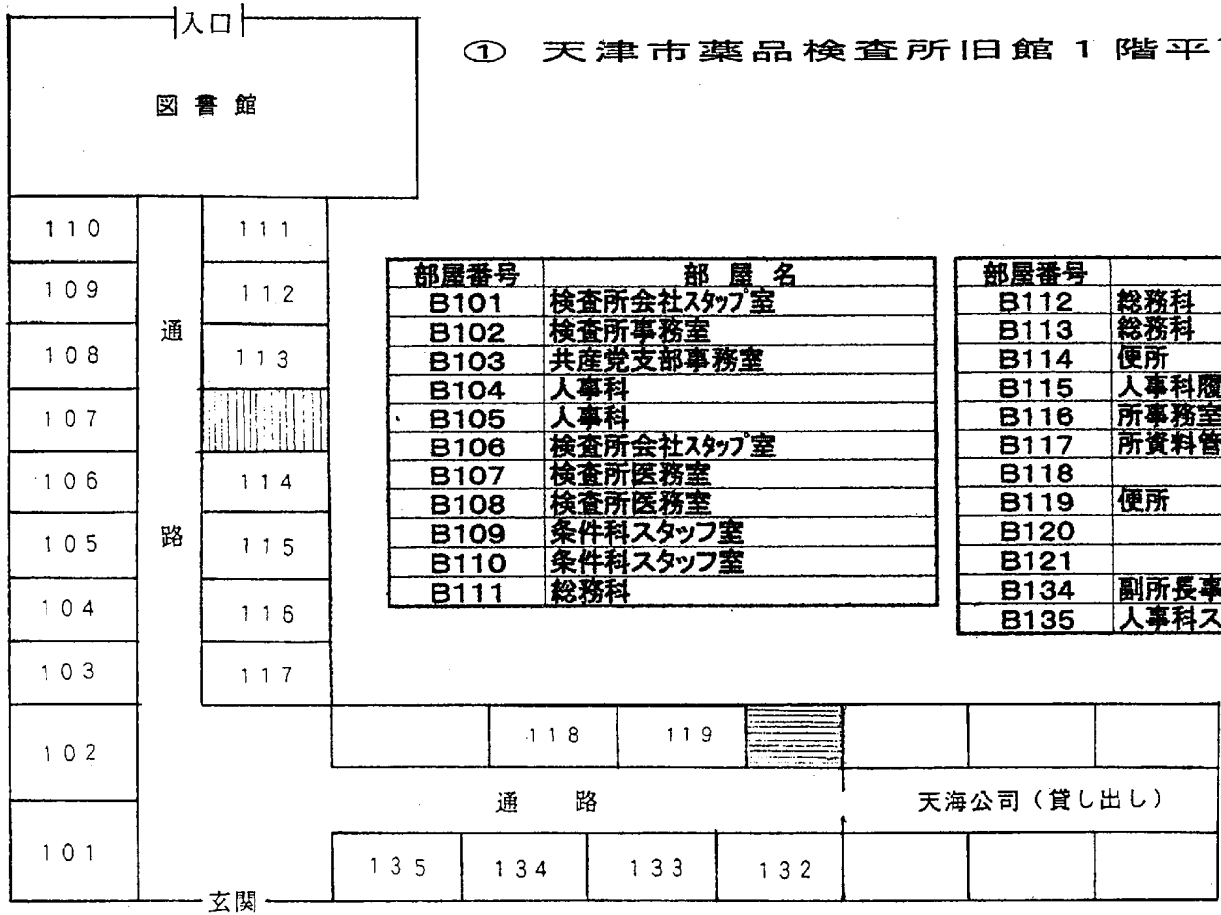
⑤ 天津市藥品検査所新館五階部分平面図  
(抗生素室)

部屋番号	部屋名
A501	視聴覚教室
A502	抗生素機器室
A503	抗生素実験室
A504	抗生素スタッフ室
A505	抗生素試薬室
A506	抗生素機器室
A507	配電室
A508	抗生素主任室
A509	
A510	抗生素主任室
A511	抗生素機器室
A512	抗生素スタッフ室
A513	抗生素実験室
A514	天秤室
A515	抗生素資料室
A516	抗生素無菌室
A517	サンプル調製室
A518	洗浄室
A519	更衣室



⑥ 天津市藥品検査所新館六階部分平面図 (中薬室)

部屋番号	部屋名
A601	標本室
A602	標本室
A603	中薬実験室
A604	中薬実験室
A605	標本室
A606	中薬機器室
A607	配電室
A608	中薬スタッフ室
A609	
A610	中薬主任室
A611	中薬スタッフ室
A612	中薬スタッフ室
A613	中薬実験室
A614	中薬天秤室
A615	中薬実験室
A616	中薬機器室
A617	中薬機器室
A618	中薬実験室
A619	洗浄室
A620	更衣室

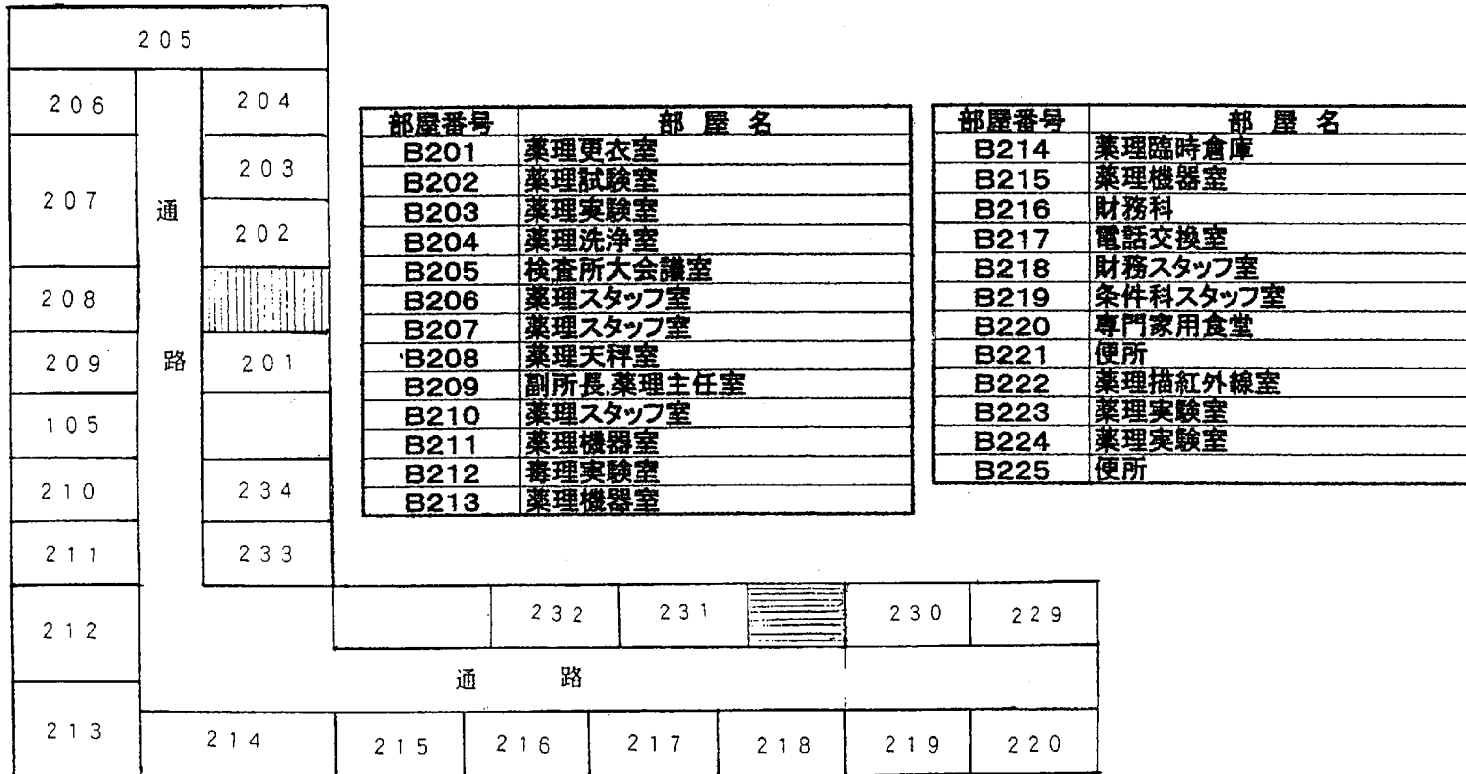


① 天津市薬品検査所旧館 1 階平面図

部屋番号	部屋名
B101	検査所会社スタッフ室
B102	検査所事務室
B103	共産党支部事務室
B104	人事科
B105	人事科
B106	検査所会社スタッフ室
B107	検査所医務室
B108	検査所医務室
B109	条件科スタッフ室
B110	条件科スタッフ室
B111	総務科


部屋番号	部屋名
B112	総務科
B113	総務科
B114	便所
B115	人事科履歴管理室
B116	所事務室スタッフ室
B117	所資料管理室
B118	
B119	便所
B120	
B121	
B134	副所長事務室
B135	人事科スタッフ室

② 天津市藥品検査所旧館 2 階平面図



③ 天津市薬品検査所旧館 3 階平面図

部屋番号	部屋名	部屋番号	部屋名	部屋番号	部屋名
301	薬品審査スタッフ室	302	薬品審査スタッフ室	303	薬品審査事務室
304	衛生局薬政処スタッフ室	305	衛生局薬政処スタッフ室	306	衛生局薬政処スタッフ室
307	衛生局薬政処外事受付室	308	衛生局薬品監査員スタッフ室	309	衛生局薬品監査員事務室
310	便所	311		312	

309	308	307	306	305	304
	通 路				
	310		301	302	303

### 天津市藥品檢查所檢品統計資料

1992年檢品統計資料

內容 科室	輸入				抜き取り				委託				總計		
	保留	合格	不合格	合計	保留	合格	不合格	合計	保留	合格	不合格	合計	完成	保留	合計
化学一室	0	839	85	924	2	515	37	554	2	31	29	62	1,536	4	1,540
生化室	0	152	4	156	1	116	6	123	2	19	2	23	299	3	302
抗生素	0	740	0	740	0	221	41	262	1	46	10	57	1,058	1	1,059
中藥室	0	38	39	77	1	457	158	616	4	373	161	538	1,226	5	1,231
藥理室	0	4	0	4	0	21	1	22	0	79	4	83	109	0	109
機器室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3	3	0	3
合計	0	1,773	128	1,901	4	1,330	243	1,577	9	551	206	766	4,231	13	4,244

1993年檢品統計資料

內容 科室	輸入				抜き取り				委託				總計		
	保留	合格	不合格	合計	保留	合格	不合格	合計	保留	合格	不合格	合計	完成	保留	合計
化学一室	0	630	2	633	19	469	31	519	1	39	7	44	1,175	20	1,195
化学二室	0	0	0	0	19	384	62	465	0	3	0	3	449	19	468
生化室	1	141	0	142	5	176	14	195	2	11	1	14	343	8	351
抗生素	0	653	0	653	13	411	82	506	1	93	25	119	1,264	14	1,278
中藥室	3	22	26	51	86	1,665	654	2,405	4	328	113	445	2,808	93	2,901
藥理室	0	0	0	0	0	8	0	8	0	12	1	13	21	0	21
機器室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1	6	6	0	6
合計	4	1,446	28	1,479	142	3,113	843	4,098	8	491	148	644	6,066	154	6,220

1994年檢品統計資料

內容 科室	輸入				抜き取り				委託				總計		
	保留	合格	不合格	合計	保留	合格	不合格	合計	保留	合格	不合格	合計	完成	保留	合計
化学一室	0	388	3	399	1	350	19	370	0	18	3	21	769	1	770
化学二室	0	0	0	0	0	333	40	373	0	13	1	14	387	0	387
生化室	0	57	0	57	2	111	7	120	0	5	0	5	180	2	182
抗生素	0	112	7	119	0	283	38	321	0	24	7	31	471	0	471
中藥室	0	41	3	45	7	1,183	227	1,417	0	84	28	112	21	0	21
藥理室	0	0	0	0	0	6	1	7	0	13	1	14	1,566	8	1,574
合計	0	596	13	620	10	2,266	332	2,608	0	157	40	197	3,394	11	3,405

1995年檢品統計資料

內容 科室	輸入				抜き取り				委託				總計		
	保留	合格	不合格	合計	保留	合格	不合格	合計	保留	合格	不合格	合計	完成	保留	合計
化学一室	0	899	0	899	5	226	23	254	0	47	2	49	667	5	672
化学二室	0	0	0	0	3	241	29	273	6	84	7	97	361	9	370
生化室	0	29	0	29	11	99	15	125	0	6	2	8	151	11	162
抗生素	0	55	0	55	28	202	7	237	1	58	9	68	352	8	360
中藥室	0	53	0	53	7	618	163	786	2	56	15	73	903	9	912
藥理室	0	0	0	0	0	12	0	12	0	10	1	11	23	0	23
合計	0	1,036	0	1,036	54	1,396	237	1,687	9	261	36	306	2,457	42	2,499

1996年檢品統計資料

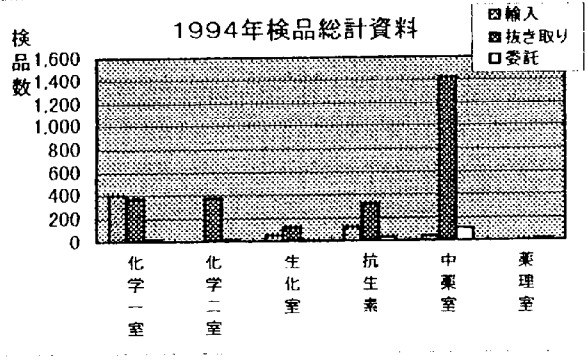
內容 科室	輸入				抜き取り				委託				總計		
	保留	合格	不合格	合計	保留	合格	不合格	合計	保留	合格	不合格	合計	完成	保留	合計
化学一室	0	574	1	575	0	266	21	287	1	83	9	93	954	1	955
化学二室	0	0	0	0	1	309	17	327	0	60	9	69	395	1	396
生化室	0	132	0	132	0	65	13	78	0	20	5	25	235	0	235
抗生素	0	73	0	73	2	290	56	348	0	46	7	53	472	2	474
中藥室	1	51	0	52	2	686	114	802	3	320	57	380	1,228	6	1,234
藥理室	0	0	0	0	0	3	1	4	0	8	3	11	15	0	15
合計	1	830	1	832	5	1,619	222	1,846	4	537	90	631	3,299	10	3,309

1997年1月—7月檢品統計資料

內容 科室	輸入				抜き取り				委託				總計		
	保留	合格	不合格	合計	保留	合格	不合格	合計	保留	合格	不合格	合計	完成	保留	合計
化学一室	32	384	0	416	17	188	5	210	24	89	7	120	673	73	746
化学二室	0	0	0	0	7	115	5	127	22	157	6	185	283	29	312
生化室	25	166	0	191	1	27	1	29	4	48	5	57	247	30	277
抗生素	21	87	0	108	28	111	14	153	21	67	9	97	288	70	358
中藥室	1	32	2	35	29	130	35	194	100	540	63	703	802	130	932
藥理室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1
合計	79	669	2	750	82	571	60	713	171	902	90	1,163	2,294	332	2,626

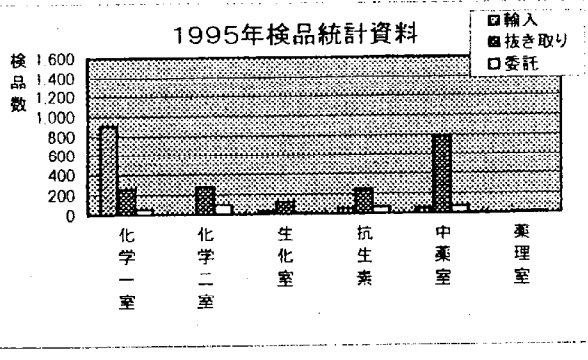
1994年検品統計資料

	輸入	抜き取り	委託	合計
化学一室	399	370	21	790
化学二室	0	373	14	387
生化室	57	120	5	182
抗生薬	119	321	31	471
中薬室	45	1,417	112	1,574
薬理室	0	7	14	21
合計	620	2,608	197	3,425



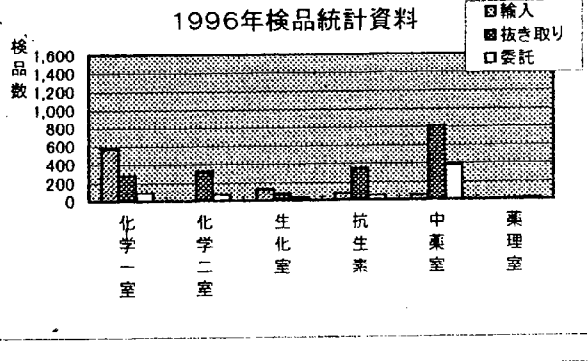
1995年検品統計資料

	輸入	抜き取り	委託	合計
化学一室	899	254	49	1,202
化学二室	0	273	97	370
生化室	29	125	8	162
抗生薬	55	237	68	360
中薬室	53	786	73	912
薬理室	0	12	11	23
合計	1,036	1,687	306	3,029



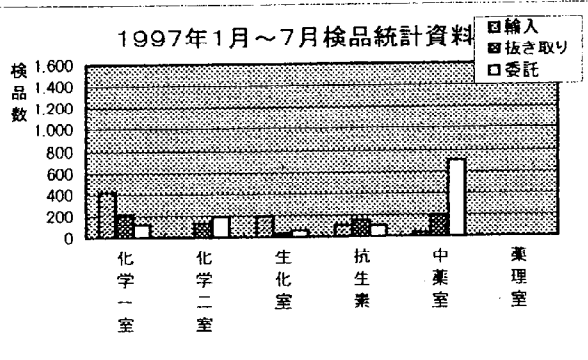
1996年検品統計資料

	輸入	抜き取り	委託	合計
化学一室	575	287	93	955
化学二室	0	327	69	396
生化室	132	78	25	235
抗生薬	73	348	53	474
中薬室	52	802	380	1,234
薬理室	0	4	11	15
合計	832	1,846	631	3,309



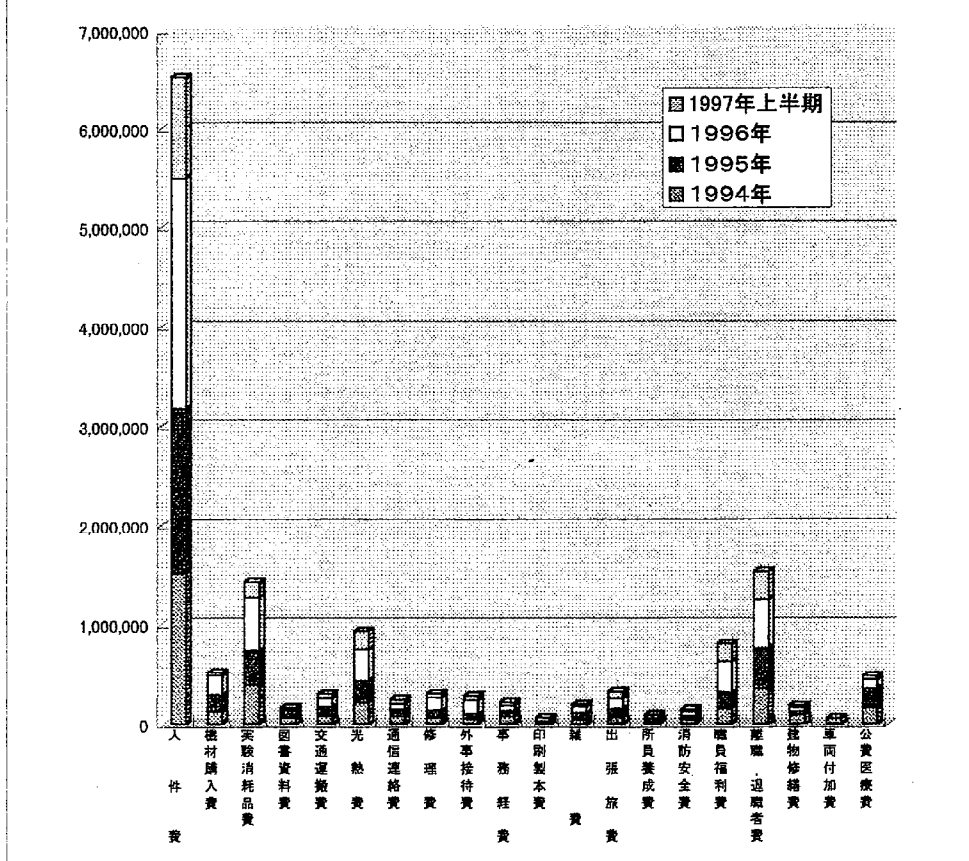
1997年1月～7月検品統計資料

	輸入	抜き取り	委託	合計
化学一室	416	210	120	746
化学二室	0	127	185	312
生化室	191	29	57	277
抗生薬	108	153	97	358
中薬室	35	194	703	932
薬理室	0	0	1	1
合計	750	713	1,163	2,626



94—97年上半期当検査所事業費支出状況表  
97.8.1

支出費用	1994年	1995年	1996年	1997年上半期	合計
人件費	1,516,428	1,661,303	2,322,469	1,026,551	6,526,751
機材購入費	124,705	170,579	197,713	31,289	524,286
実験消耗品費	395,824	349,710	534,684	152,439	1,432,657
図書資料費	60,476	69,762	27,959	7,235	165,432
交通運搬費	80,513	90,887	92,668	38,333	302,401
光熱費	215,939	217,665	321,671	181,643	936,918
通信連絡費	75,242	69,645	59,183	45,301	249,371
修理費	59,729	80,180	128,986	39,295	308,190
外事接待費	52,173	45,115	147,751	40,814	285,853
事務経費	78,782	53,177	57,970	28,522	218,451
印刷製本費	10,746	18,883	30,901	4,827	65,357
雑費	42,075	69,241	65,497	25,231	202,044
出張旅費	72,164	79,198	107,783	70,954	330,099
所員養成費	22,655	32,892	31,593	5,988	93,128
消防安全費	39,624	44,029	46,088	18,736	148,477
職員福利費	158,735	159,088	317,204	179,457	814,484
離職、退職者費	356,907	409,530	492,557	279,141	1,538,135
建物修繕費	91,090	37,526	38,935	19,394	186,945
車両付加費	58,447	0	0	0	58,447
公費医療費	160,436	193,883	96,169	36,949	487,437
合計	3,672,690	3,852,293	5,117,781	2,232,099	14,874,863

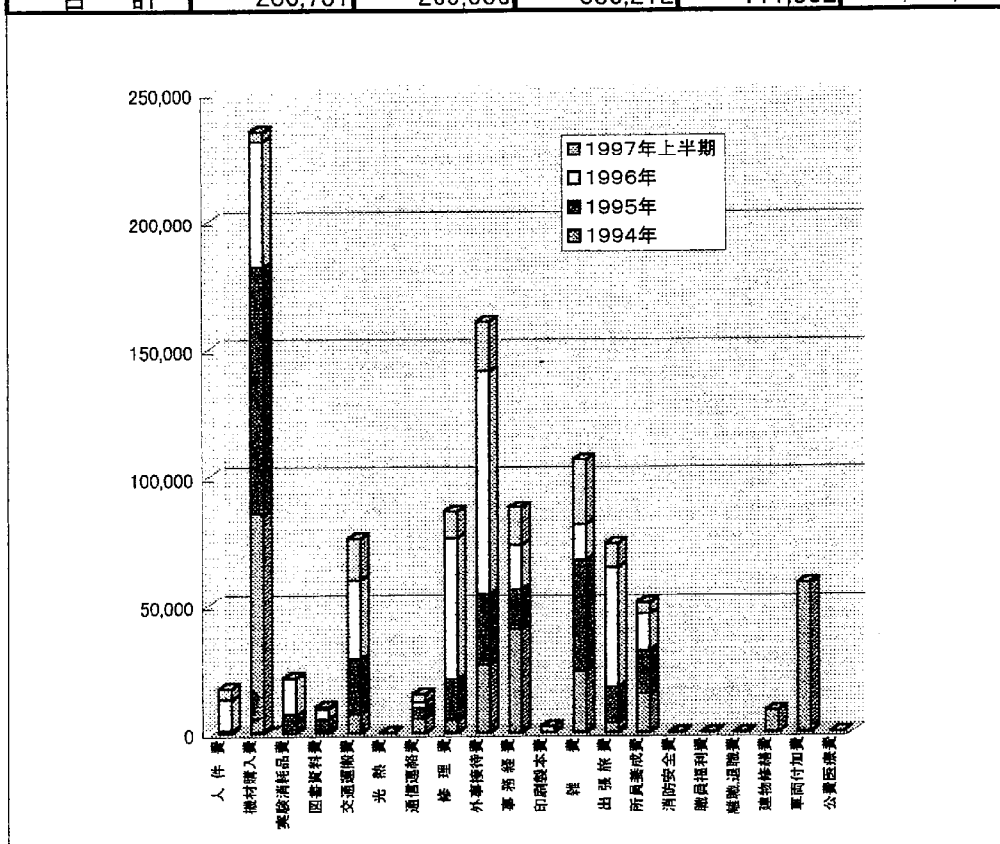






94-97年上半年中国側ロ-カルコスト負担支出状況表 (単位: 人民元)  
97.8.1

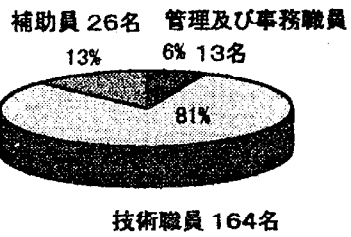
支出費用	1994年	1995年	1996年	1997年上半年	合計
人件費	0	920	12,386	4,111	17,417
機材購入費	85,404	96,755	49,023	3,930	235,112
実験消耗品	0	7,333	14,072	80	21,485
図書資料費	474	4,895	4,225	880	10,474
交通運搬費	7,185	21,454	30,872	16,386	75,897
光熱費	0	0	0	0	0
通信連絡費	5,456	4,505	2,205	3,101	15,267
修理費	4,894	16,045	55,275	9,975	86,189
外事接待費	26,553	27,525	86,916	19,644	160,638
事務経費	40,544	15,292	17,600	14,633	88,069
印刷製本費	0	0	2,357	0	2,357
雑費	23,833	43,719	13,638	25,282	106,472
出張旅費	3,760	14,055	46,995	9,120	73,930
所員養成費	15,384	16,508	14,648	4,440	50,980
消防安全費	0	0	0	0	0
職員福利費	0	0	0	0	0
離職退職費	0	0	0	0	0
建物修繕費	8,817	0	0	0	8,817
車両付加費	58,447	0	0	0	58,447
公費医療費	0	0	0	0	0
合計	280,751	269,006	350,212	111,582	1,011,551



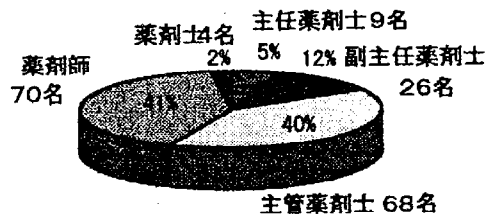


検査所職員資料1

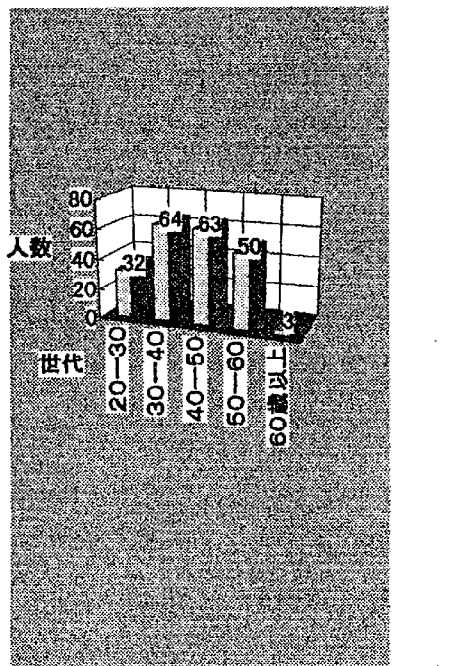
(1) 職員数及び職員分類表



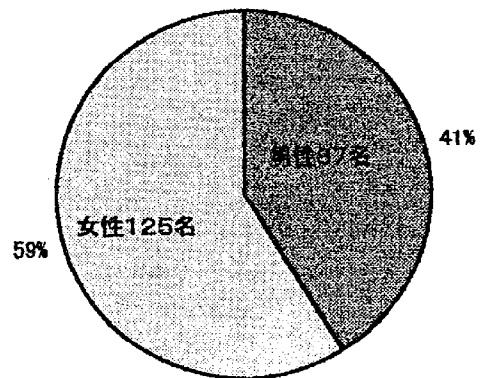
(2) 技術職員職種統計



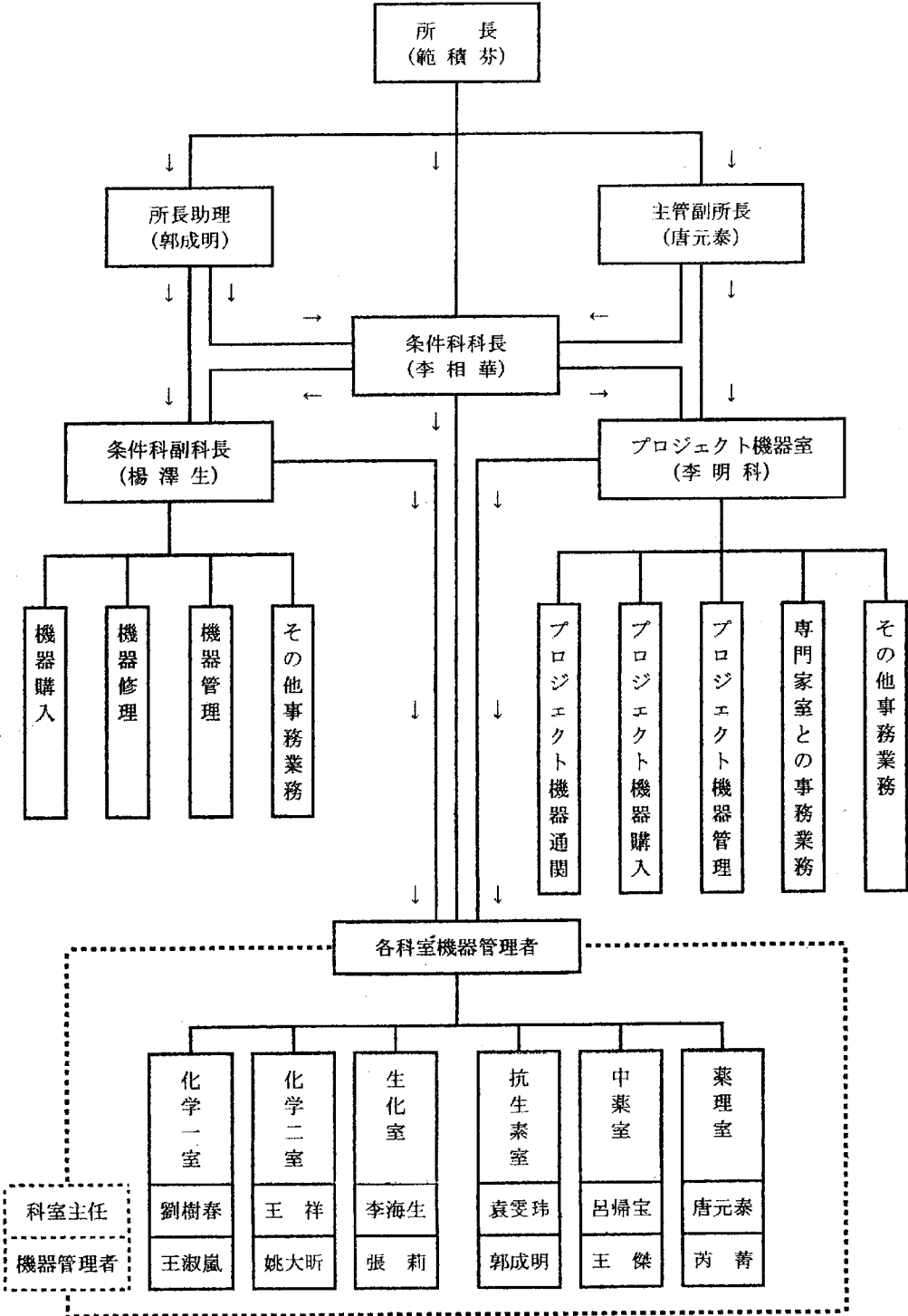
(3) 職員年齢別統計



(4) 職員男女別統計



天津市藥品検査所機器管理組織図



1997年8月1日現在

JICA援助機材到着状況表

年月日	便名	B/L NO.	到着	機材分類	年度/携行	金額	機材内容	検収日	調査提出	備考
94.02.06	CA-1524	131-5801-4740	94.4.5	携行機材	柴崎 藤井	¥1,410,509	書籍, パソコン	94.4.5	94.4.10	
94.03.29	CA-1157	131-5801-4795	94.4.19	携行機材	柴崎利雄	¥209,739	書籍	94.4.19	94.4.25	
94.04.16	CA-1191	131-5922-5994	94.5.6	携行機材	杉井 篤	¥760,616	自動天秤(5台)	94.5.9	94.5.12	
94.04.27	FORTUNE WIND	YXI-20	94.6.24	93年供与	93年度	¥28,789,759	実験検査機器	94.7.25	94.8.8	3回に分 け検収. 7/6:HPL C,GC,7/2 5:試験混 合器,PHメ ーター .7/29:FTI R
94.05.13	CA-1908	988-00353415	94.6.14	携行機材	守安正恭	¥581,668	実験用試薬等	94.6.15	94.6.20	
94.05.25	CA-1908	988-00353695	94.6.14	携行機材	守安正恭	¥216,777	私物	94.6.15	94.6.20	
94.06.03	CA-1191	131-5943-4082	94.6.23	携行機材	矢崎広久	¥428,733	実験用器具, 部品	94.6.24	94.7.7	
94.06.03	CA-1524	131-5943-4104	94.6.23	輸送機材	矢崎広久	¥102,452	私物	94.6.24	94.7.7	
94.06.03	CA-1504	131-5943-4071	94.6.14	携行機材	矢崎広久	¥149,327	実験用試薬	94.6.15	94.6.20	
94.06.21	CA-1001	131-5966-8814	94.7.11	携行機材	矢原正治	¥803,882	実験用試薬, 消耗品	94.7.12	94.7.14	
94.06.24	FORTUNE WIND	NXI-102	94.7.20	93年供与	93年度	¥3,444,961	乗用車(2台)	94.7.26	94.8.8	
94.06.27	X2-366	131-5962-0466	94.7.11	携行機材	大倉洋甫	¥285,645	実験用試薬	94.7.12	94.7.15	
94.06.28	FORTUNE WIND	YXI-06	94.7.30	93年供与	93年度	¥20,595,567	実験用検査機器	94.8.4	94.8.8	
94.06.28	X2-366	131-5966-8836	94.7.11	輸送機材	今枝一男	¥170,456	変圧器, 書籍	94.7.12	94.7.14	
94.06.28	X2-366	131-5966-8840	94.7.11	携行機材	杉井 篤	¥322,410	実験用カラム, 書籍	94.7.12	94.7.14	
94.08.08	X2-366108	131-5988-2126	94.9.2	携行機材	今枝一男	¥521,940	書籍等	94.9.5	94.9.10	
94.09.29	CA1524	131-5015-6153	94.10.11	携行機材	柴崎他	¥543,300	実験用消耗品等	94.10.12	94.10.15	
94.09.05	FORTUNE WIND	YXI-04	94.10.16	93年供与	93年度	¥6,805,515	実験機器備品, 消耗品	94.10.18	94.10.21	
94.10.17	MC1524	131-5015-6315	94.10.24	携行機材	今枝一男	¥1,351,355	パソコン, OHP部品等	94.10.24	94.10.25	
94.10.25	OZ-3155	988-0101-5313	94.11.1	携行機材	山口定男	¥256,300	書籍, 実験用消耗品	94.11.2	94.11.10	
94.10.26	CA-1191	131-5624-1662	94.10.26	携行機材	大倉洋甫	¥44,666	カタログ, ガラス器具等	94.10.26	94.10.31	
95.02.27	JL786		95.2.28	同時携行	山口定男	¥404,790	パソコン, パソコンソフト	95.2.28	95.3.7	
95.02.27	JL786		95.2.28	同時携行	柴崎利雄		試薬, 書籍	95.2.28	95.3.7	

JICA援助機材到着状況表

年月日	便名	B/L.NO.	ブローイ到着	機材分類	年度/携行	金額	機材内容	検収日	調書提出	備考
95.03.16	CA1524	131-5057-2163	95.3.16	携行機材	山口定男	¥233,611	書籍等	95.3.16	95.3.20	
95.03.16	CA926/21,CA1181/22	131-5051-8882	95.3.16	携行機材	柴崎利雄	¥75,176	書籍等	95.3.16	95.3.20	
95.03.16	CA1191	131-5046-0771	95.3.16	携行機材	柴崎利雄	¥41,947	ガラス管	95.4.1	95.4.17	
95.04.12	ALPHA ACE	YXG027156	95.5.20	94年供与	94年度	¥19,812,272	原子吸光	95.6.13	95.6.15	
95.04.20	ALPHA ACE	YXG027410	95.6.20	94年供与	94年度	¥39,983,906	HPLC,UV,滅菌器,クリーンベンチ,自動滴定装置	95.7.3	95.7.10	
95.05.01	CA-7703	131-5046-1751	95.5.15	携行機材	山口定男	¥121,061	書籍,パソコン接続コード	95.5.15	95.7.10	
95.06.01	JL781		95.6.01	同時携行	青柳伸男	¥597,829	SUPPOSITORYRELEASE TESTING MACHINE	95.6.01	95.6.04	
95.07.14	VEGA-V	222019638	95.9.04	94年供与	94年度	¥12,967,181	薄層クロマト検出用蛍光紫外検出器,偏光顕微鏡,自動分注器	95.9.6	95.9.12	
95.07.15	CA-1181	131-5046-3206	95.7.17	携行機材	青柳伸男	¥389,378	ROTATING DIALYSIS CELL	95.7.18	95.7.22	
95.09.02	CA926/15,CA1181/17	131-5117-0836	95.8.30	携行機材	山口,藤生	¥551,002	薬品,試薬サンプル	95.9.2	95.9.6	
95.09.02	JA791/02,CA1524/04	131-5126-2212	95.9.12	携行機材	柴崎,貴志	¥741,833	パソコン,書籍,実験消耗品	95.9.12	95.9.16	
95.09.05	CA1181	131-5129-4110	95.9.12	携行機材	貴志,藤生	¥1,123,566	エバポレーター,消耗品	95.9.12	95.9.16	
95.10.07	MU524/07,CA1524/09	131-5036-5696	95.10.17	携行機材	内山 充	¥410,677	原子吸光用ランプ	95.10.17	95.10.20	
95.10.14	CA926/14,CA1181/16	131-5149-0386	95.10.25	携行機材	山川敏郎	¥654,891	試薬,実験器具	95.10.30	95.11.3	
95.11.05	JL781		95.11.05	同時携行	佐竹元吉	¥395,000	中圧分取システム用中圧ポンプ(NP-SR-10)	95.11.07	95.11.12	
95.11.18	CA926/18,CA1181/20	131-5129-5904	95.12.04	携行機材	村井敏美	¥211,284	書籍	95.12.04	95.12.7	
95.11.18	CA926/18,CA1181/20	131-5129-5893	95.12.19	携行機材	村井敏美	¥1,395,385	自動製氷機器	95.12.19	95.12.23	
95.11.18	CA926/18,CA1181/20	131-5129-5812	95.12.04	携行機材	村井敏美	¥541,557	パソコン,実験器具	95.12.04	95.12.7	
96.03.13	CA1181	131-5208-4115	96.3.19	携行機材	大野尚仁	¥769,253	GPCカラム他	96.3.25	96.3.28	
96.03.14	CA1181	131-5129-7551	96.3.19	携行機材	大野尚仁	¥54,068	SODIUM AZIDE他	96.3.25	96.3.28	

JICA援助機材到着状況表

年月日	便名	B/L NO.	プロイ到着	機材分類	年度/携行	金額	機材内容	検収日	調書提出	備考
96.03.14	CA1181	131-5129-7584	96.3.19	携行機材	大野尚仁	¥310,433	マイクロチューブ他	96.3.25	96.3.28	
96.03.28	NH905		96.3.28	同時携行	大野尚仁		試薬15種類	96.3.28	96.3.30	
96.03.30	CA1181	131-5184-6200	96.4.11	購送機材	藤原 博	¥474,833	ワープロ等	96.4.11	96.4.15	
96.04.04	CA1181	131-5184-6222	96.4.11	携行機材	藤原 博	¥369,395	チューブミキサー他	96.4.11	96.4.15	
96.05.03	FORTUNE WIND	YXI-02	96.5.22	供与機材	95年度	¥12,967,181	POLARING MICROSCOPE その他	96.5.31	96.6.3	
96.05.20	CA926,CA1181	131-5144-9672	96.5.31	携行機材	貴志豊和	¥77,750	TEST TUBE他	96.6.4	96.6.7	
96.06.12	CA926,CA1181	131-5186-3276	96.6.12	携行機材	貴志豊和	¥120,607	クロマト用シリカゲル板	96.6.13	96.6.16	
96.07.04	CA926,CA1181	131-5163-1576	96.7.11	購送機材	配島由二	¥1,383,607	パソコン等私物	96.7.12	96.7.16	
96.07.11	CA926,CA1181	131-5186-3372	96.7.11	携行機材	貴志豊和	¥327,365	デシケーター他	96.7.12	96.7.16	
96.07.23	CA930,CA524	131-5237-1723	96.7.26	携行機材	配島由二	¥413,625	薬品類	96.7.29	96.8.1	
96.06.01	BELKAID	YXI-06	96.6.21	供与機材	95年度	¥16,221,963	オートサンブラー等機器	96.7.1	96.7.5	
96.08.12	CA926,CA1181	131-5184-6432	96.8.15	携行機材	配島由二	¥332,962	TEST TUBE等	96.8.16	96.8.20	
96.08.21	CA926,CA1181	131-5163-1742	96.8.28	携行機材	塩田寛子	¥352,898	試薬等	96.8.29	96.9.1	
96.08.23	CA926,CA1181	131-5070-2576	96.8.28	携行機材	森本和滋	¥205,072	試薬等	96.8.29	96.9.1	
96.08.28	KE705,KE653	180-4488-5223	96.9.3	携行機材	貴志豊和	¥72,825	セップパック等	96.9.4	96.9.6	
96.09.01	ASIAN FRIENDSHIP	270059264	96.9.21	供与機材	95年度		キャピラリー電気泳動等各種機材	96.10.3-7	96.10.16	
96.09.05	JL791,CA1524	131-5228-4816	96.10.14	携行機材	中路幸男	¥267,753	ワープロ、書籍等	96.10.15	96.10.16	
96.09.11	CA926,CA1181	131-5163-1775	96.10.14	輸送機材	塩田寛子	¥143,759	パソコン、書籍文献	96.10.15	96.10.16	
96.10.04	JL791,CA1524	131-5228-4945	96.10.14	携行機材	内藤克司	¥400,432	マイクローム、切片器、その他	96.10.16	96.10.18	
96.10.22	JL791,CA1524	131-5298-8121	96.11.07	携行機材	内田	¥736,320	医療用品	96.11.13	96.11.16	



JICA援助機材到着状況表

年月日	便名	B/L NO.	プロバイ到着	機材分類	年度/携行	金額	機材内容	検収日	調書提出	備考
96.12.10	JL791,CA1524	131-5298-8633	97.01.06	携行機材	柴崎、藤井	¥473,157	パーソナルコンピュータ用備品	97.01.08	97.01.10	
97.03.19	CA926,CA1181	131-5002-0585	97.04.03	輸送機材	大屋和美	¥172,604	書籍、ワープロ、消耗品	97.04.04	97.04.06	
97.04.08	CA926,CA1181	131-5293-2025	97.04.	携行機材	大屋和美	¥963,988	スペクトロメーター等			
97.04.08	CA926,CA1181	131-5002-1031	97.05.04	携行機材	杉井篤	¥207,297	書籍	97.05.12	97.05.15	
	CA926,CA1181	131-5349-2305	97.04.18	カタログ			カタログ	97.04.21	97.04.23	
	FM88	023-3570-1912	97.04.30	供与機材	96年度		ポリグラフシステム	97.04.30	97.04.30	
	FM88	023-3570-1956	97.04.30	供与機材	96年度		リージェントキッドその他	97.05.12	97.05.14	
	FM88	023-3570-1923	97.05.16	供与機材	96年度		冷凍庫等	97.05.16	97.05.18	
97.05.14	NH905		97.05.15	同時携行	中田琴子		パーソナルコンピュータ	97.05.15	97.05.18	
97.05.14	KE702,KE853	180-4488-5396	97.05.29	携行機材	大倉、尾崎他	¥1,858,957	医療用品、パーソナルコンピュータ等	97.05.30	97.06.02	
97.05.22	KE002,KE853	180-4488-5433	97.06.06	携行機材	杉井篤	¥283,277	クロマト用備品その他	97.06.09	97.06.11	
97.06.05	JL791,CA1524	131-5338-3094	97.06.11	携行機材	鈴木良実	¥149,318	ポリエチレン容器	97.06.12	97.06.14	
97.06.10	NH905		97.06.12	同時携行	鈴木良実		書籍、変圧器等	97.06.12	97.06.14	
97.06.24	CA926,CA1181	131-5293-2316, 131-5293-2250	97.07.06	携行機材	石橋無味雄	¥691,276	実験器具	97.07.08	97.07.10	
97.07.01	NH905		97.07.02	同時携行	内倉和雄		薬品	97.07.02	97.07.03	
97.07.02	CA926,CA1181	131-5293-2364	97.07.17	携行機材	石橋無味雄	¥1,183,836	クロマトグラフ用カラムその他	97.07.17	97.07.18	
97.07.02	CA926,CA1181	131-5293-2375	97.07.17	携行機材	内倉和雄	¥50,372	試薬	97.07.17	97.07.18	
97.07.07	CA926,CA1181	131-5002-2033	97.07.17	携行機材	矢原正治	¥1,410,382	カラム、ポンプ等	97.07.17	97.07.18	
97.07.10	JL791,CA1524	131-5338-3164	97.07.17	携行機材	大野尚仁	¥714,843	化学検査薬等	97.07.17	97.07.18	